

ηNXAMP4/ηNXAMP4-DパワードTDコントローラー

およびNANORM POEリモートコントロールデバイス



ユーザーマニュアル (ファームウェアV1.6.5)



目次

目次.....	2
安全上のご注意.....	4
コンプライアンス情報.....	7
FCC情報（米国）.....	7
重要な通知: このユニットは改造しないでください。.....	7
重要.....	7
注意.....	7
DOC.....	8
情報.....	9
パッケージ.....	9
パッケージ内容.....	9
はじめに.....	10
ラックへの設置.....	10
スピーカーケーブルの選択.....	11
フロントパネルの説明.....	12
STATUS（状態）インジケータ.....	12
INPUT（入力）インジケータ.....	12
OUTPUT（出力）インジケータ.....	12
NETWORK（ネットワーク）インジケータ.....	12
WIFI（WI-FI）インジケータ.....	12
リアパネルの説明.....	13
A: REMOTE CONTROL（リモートコントロール）ポート.....	13
B: GPIOポート.....	13
C: 排気口.....	15
D: S/PDIFインターフェース.....	16
E: アナログ入力.....	16
F: パワーアンプ出力.....	17
G: 主電源コネクタ.....	18
H: DANTEインターフェース（NANONXAMP4-Dのみ）.....	18
nanoNXAMP4対応セットアップ一覧.....	19
nanoNXAMP4 DSPブロックダイアグラム.....	21
リモートコントロールソフトウェアの説明.....	23
nanoNXAMP4の起動.....	23
ネットワークコントロールのワイヤレス接続.....	23
ネットワークコントロールの有線接続.....	24
リモートコントロールページの説明.....	24
Dashboardページの説明.....	25
Inputページの説明.....	25
Areaページの説明.....	26
Outputページの説明.....	30
Settingsページの説明.....	34
NANORM POEリモートコントロールデバイス.....	45

NANORMとnanoNXAMP4の接続.....	46
NANORMデバイスの取り付け	46
NANORMデバイスの操作	49
NANORMデバイスの設定	49
NANORMデバイスの設定	57
リモートコントロール – NEXO NeMo	58
IPベースのリモートコントロールプロトコル	58
NeMo (NEXO Remote) : nanoNXAMP4コントロールソフトウェア.....	58
メンテナンス	60
ハードウェアメンテナンス	60
デフォルト設定へのリセット	60
nanoNXAMP4/nanoNXAMP4-D技術仕様	61
NANORM技術仕様.....	62
熱放散と電流	63
nanoNXAMP4 (ピンクノイズ、100 V/50 Hz主電源)	63
nanoNXAMP4 (ピンクノイズ、120 V/60 Hz主電源)	63
nanoNXAMP4 (ピンクノイズ、230 V/50 Hz主電源)	64
図面と寸法	64
メモ	65

安全上のご注意

ご使用前に、必ずよくお読みください。

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

「警告」と「注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

記号表示について

本製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

注意喚起を示す記号



禁止を示す記号



行為を指示する記号



- 点検や修理は、必ずお買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。

警告

電源/電源コード



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない、製品にさわらない。感電の原因となることがあります。



必ず実行

電源は必ず交流 100V を使用する。エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災の恐れがあります。



必ず実行

必ずアース線を接続する。アース接続は電源プラグをコンセントに差し込む前に行う。確実にアース接続しないと、感電や火災、または故障の原因になります。アース接続をはずす場合は、電源プラグをコンセントから取りはずしてから行ってください。



必ず実行

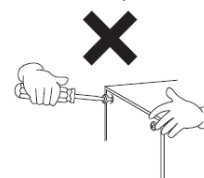
電源コードは、必ず付属のものを使用する。故障、発熱、火災などの原因になります。

分解禁止



禁止

本製品を分解したり改造したりしない。感電や火災、けが、または故障の原因になります。本製品の内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。



通気孔に注意



禁止

通気口の換気を妨げない。製品の内部で、異常発熱をおこし火災、または故障の原因になります。

水や火に注意



禁止

- 本製品の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
- 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。



禁止

- 本製品の近くで、火気を使用しない。
- 火災の原因になります。

聴覚障害



必ず実行

オーディオシステムの電源を入れるときは、パワーアンプをいつも最後に入れる。電源を切るときは、パワーアンプを最初に切る。

聴覚障害やスピーカーの損傷の原因になることがあります。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐにパワーアンプの電源を切る。

- 製品から異常なおいや煙が出た場合
- 製品の内部に水や異物が入った場合
- 使用中に音が出なくなった場合
- 製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

⚠ 注意

電源/電源コード



禁止

電源コードが破損するような事をしない。
(感電や火災の原因になります)

- 加工したり傷つけたりしない
- 無理に曲げない
- ストープなどの熱器具に近づけない
- 電源コードに重いものをのせたり引っ張ったりしない
- 電源プラグを抜く時は、電源コードを持たずに、電源プラグを持って引き抜く



禁止

電源コードなどの被覆剥けを放置したり、ビニールテープなどで応急修理したりしない。
製品の点検、修理は必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

タコ足配線をしない。
コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。



プラグを抜く

長期間使用しない時や落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電、ショート、発火などの原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。
電源プラグの差し込みが不十分のまま使用すると感電や、プラグに埃がたまり発熱や発火の原因となります。



必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。
発熱や発火の原因となります。

電源アダプター



禁止

衣類や布団、テーブルクロスなどでおおった状態で使わない。
熱がこもり製品ケース部の変形や、火災の原因となることがあります。



禁止

ハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させるなど、強い衝撃を与えない。
破裂したり、火災の原因となることがあります。



必ず実行

電源アダプターは、必ず指定のものを使用する。
異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。

設置と接続



禁止

設置場所について:スピーカーシステムを直射日光の当たる場所に置かないでください。
温帯気候における動作温度:0℃~+40℃ (保管は-20℃~+60℃)



禁止

不安定な場所に置かない。
本製品が転倒して故障したり、けがをしたりする原因になります。



禁止

本製品を子供の手の届くところに置かない。
本製品は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。



禁止

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない。
故障の原因になります。



必ず実行

本製品を移動するときは、必ず接続ケーブルをすべて外した上で行なう。
ケーブルをいためたり、お客様やほかの方が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

取り付け工事は、必ずお買い上げの販売店に依頼する。また、取り付ける場合は、以下の点に注意する。

- 本製品の重量に十分に耐えられる取り付け器具と場所を選ぶ
- 継続して振動があるような場所は避ける
- 必ず指定された取り付け工具を使用する
- 定期的に保守点検を行なう



必ず実行

スピーカー接続専用のケーブルを使用する。
それ以外のケーブルを使うと、火災の原因になることがあります。

取り扱い



禁止

アンプでクリップが生じるような過大な信号や以下のような音(ノイズ)を入力しない。

- マイクロフォン使用時のハウリング音
- 電子楽器などからの連続した大音量の音
- 過度にひずんだ連続音
- アンプの電源を入れた状態でのケーブルの抜き差しによるポップノイズ

パワーアンプの出力レベルが本製品の(プログラム)許容入力レベルより低い場合でも、本製品の損傷、故障や火災のおそれがあります。



禁止

音がひずんだ状態では本製品を使用しない。
本製品が発熱し、火災の原因になることがあります。

無線機能を有する製品に関する注意



禁止

製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線(免許を要する無線局)が運用されています。

- この製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一この製品からの移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は製品の運用を停止(電波の発射を停止)してください。

FCC 情報（米国）

重要な通知: このユニットは改造しないでください。

本製品は、このマニュアルの指示に従って取り付けられた場合のみFCC要件を満たします。NEXO-SAによって明示的に承認されていない変更を行なった場合、FCCに認可された製品使用権限が無効になる恐れがあります。

重要

本製品にアクセサリや他の製品を接続する場合、高品質シールドケーブル以外使用してはなりません。必ず本製品に付属のケーブルを使用してください。すべての取り付け手順に従ってください。手順に従わない場合、米国内で本製品を使用するためのFCCの認可が無効になる恐れがあります。

注意

本製品は、FCC規制パート15に記載されるクラス「A」デジタル機器に関する要件に準拠することが、試験の結果証明されています。これらの要件に準拠することで、お客様が居住環境で本製品を使用しても、他の電子機器との有害な干渉が発生しないことが合理的に保証されます。本装置は無線周波数を発生または使用するものであり、ユーザーマニュアルの指示に従い設置および使用しない場合、他の電子機器の動作に悪影響を及ぼす干渉が発生する恐れがあります。FCC規制に準拠していても、すべての装置において干渉が発生しないことを保証するものではありません。干渉の有無は装置を「OFF」にしてから「ON」にすることで確認できます。以下のいずれかの方法で問題の排除を試みてください。

本製品または干渉の影響を受ける機器のいずれかを移動します。

異なる分岐（サーキットブレーカーまたはヒューズ）の回路に属する電源コンセントを使用するか、ACラインフィルターを取り付けます。

ラジオまたはテレビに干渉がある場合は、アンテナの配置または向きを変更します。アンテナの引き込み線が300Ωのリボンケーブルの場合は、その引き込み線を同軸タイプのケーブルに変更します。

これらの是正措置で十分な結果が得られない場合は、この種の製品の販売権限を持つ地域の小売業者に連絡してください。適切な小売業者が見つからない場合は、NEXO-SAのアフターセールス部門（Parc d'Activité du Pré de la Dame Jeanne, B.P.5, 60128 PLAILLY, FRANCE）までご連絡ください。

適合宣言

社名 **NEXO SA**
ZA DU PRE DE LA DAME JEANNE
60128 PLAILLY – France

製品 **TDコントローラー**

型番 **nanoNXAMP4、nanoNXAMP4-D**

シリアルナンバー **製品上に記載**

次の指令の条項に適合していることを宣言します（該当するすべての修正条項を含む）。

電気機器の安全性
EN 62368-1:2014 + AC:2015-02 + AC:2015-05 + AC:2015-11+ AC:2017-03 + All:2017

無線機器 (RED)
EN 300 328 V2.2.2
EN 301893 V2.1.1

人体への電磁界 (EMF) のばく露
EN 62479:2010

Electromagnetic Compatibility (EMC)
EN 301489-1V1.9.2
EN 301 489-1V2.1.1
EN 301 489-1V2.2.3
EN 301 489-17 V3.1.1
EN 301489-17 V3.2.4
EN 55032:2015 + AC:2016 + All:2020 + AI:2020
EN 55035:2017 + AC:2019-11+ All:2020
EN 55103-2:2009
EN 61000-3-2:2014
EN 61000-3-3:2013 + A1:2019

Restricted substances in electrical products
EN IEC 63000:2018

Plailly, 2024年4月1日 **Joseph CARCOPINO、R&Dディレクター**

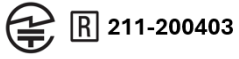


情報

欧州

購入者/ユーザー情報は、EN 55103-2:2009に規定されます。
環境E1、E2、E3、E4に適合します。

日本

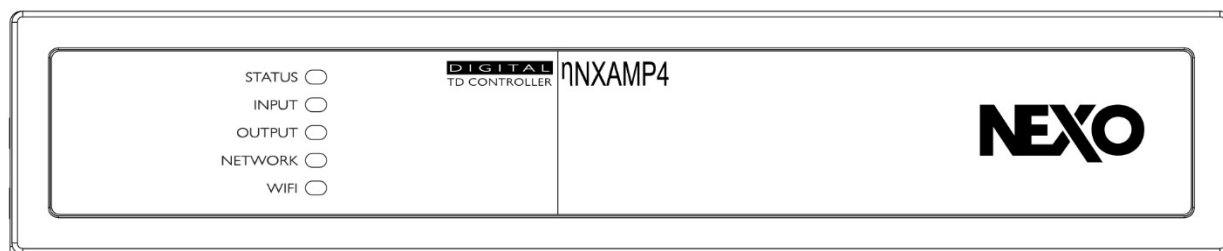


パッケージ

パッケージ内容

製品の破損防止のため、箱を開ける際は丁寧に行なってください。内容は以下のとおりです。

- nanoNXAMP4またはnanoNXAMP4-DパワードTDコントローラー x 1
- nanoNXAMP4/nanoNXAMP4-Dクイックスタートガイド x 1
- ユーロブロックタイプ入力コネクタ x 2
- ユーロブロックタイプ出力コネクタ x 2
- ユーロブロックタイプGPIOコネクタ x 1
- 接着式ゴム足 x 4
- 電源コード x 1



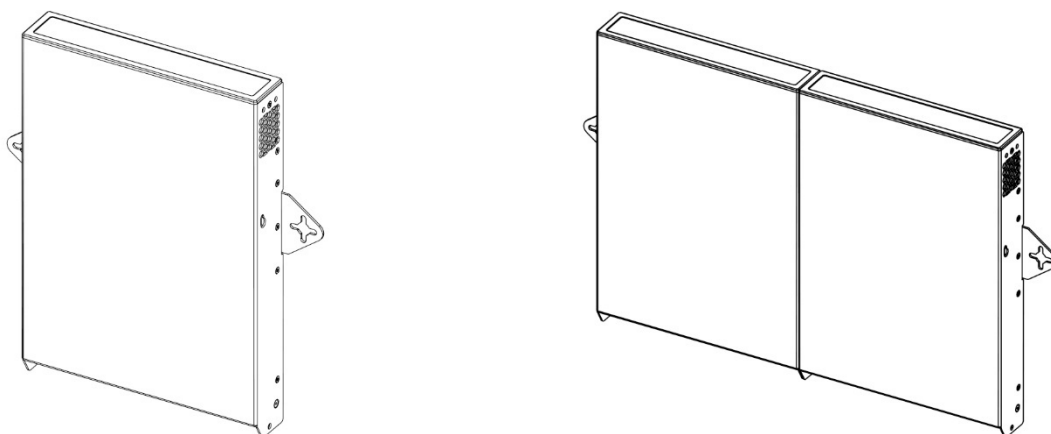
nanoNXAMP4/nanoNXAMP4-Dをご購入いただきありがとうございます。本マニュアルでは、機器の設定方法について説明しています。お時間をいただき、お読みいただけますようお願いいたします。

nanoNXAMP4/nanoNXAMP4-Dは、NEXOスピーカーの複数のシリーズに完全に適合するように設計された、4チャンネルのパワーTDコントローラーです。

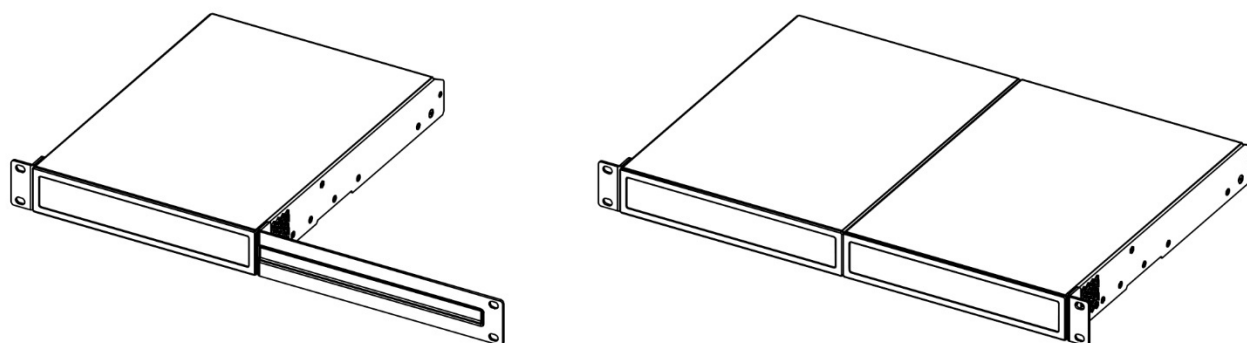
TDコントローラーは、音響性能の向上およびNEXOスピーカーの保護を目的として設計された、極めて精巧なオーディオプロセッシングユニットです。このプロセッサはパワーアンプの4つのチャンネルと連動します。

ラックへの設置

nanoNXAMP4/nanoNXAMP4-Dは壁面や天井（専用アクセサリ-NANOWMを使用）を含む平面に設置できます。また、専用アクセサリ-NANORKを使用すると適切なラックユニットへの取り付けも可能です。



上記は、NANOWMアクセサリを使用して1台または2台のnanoNXAMP4を取り付けた図です。



上記は、NANORKアクセサリを使用して1台または2台のnanoNXAMP4を取り付けた図です。

nanoNXAMP4/nanoNXAMP4-Dは側方から後方に空気が流れます。DTDAMP（DTDコントローラー搭載）、第1世代NXAMPおよびNXAMPmk2と空気の流れる方向が同じなので、同じラックに混在して設置できます。

スピーカーケーブルの選択

⚠警告

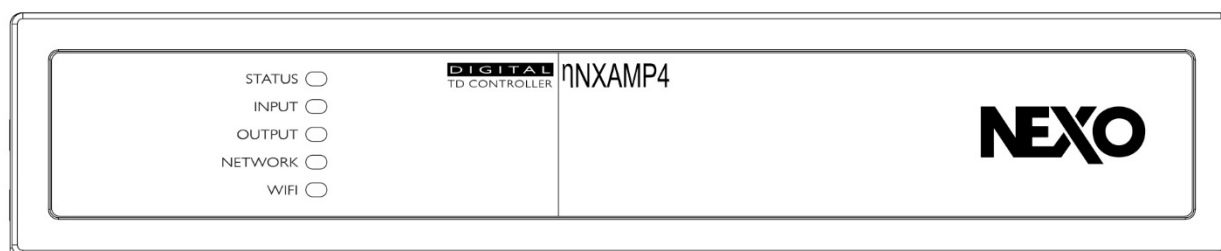
パワーアンプの出力端子には高電圧がかかっている場合があります。nanoNXAMP4/nanoNXAMP4-DをNEXOスピーカーに接続する際は、少なくともNEC（米国電気工事規程）UL13 CL3（300 V以下）の基準を満たす配線ケーブルを使用してください。

スピーカーケーブルにおける電力およびダンピング係数の損失を最小限に抑えるには、以下の表に示す適切な測定基準を使用してください。

負荷インピーダンス (Ω)	2	2.6	4	8
ケーブル断面積	最大長、単位: m (フィート)			
0.75 mm ² (AWG #18)	5 (18)	8 (26)	11 (37)	23 (75)
1.5 mm ² (AWG #15)	11 (36)	16 (52)	23 (75)	46 (150)
2.5 mm ² (AWG #13)	20 (66)	28 (92)	40 (130)	80 (260)
4 mm ² (AWG #11)	32 (105)	40 (130)	64 (210)	128 (420)
6 mm ² (AWG #9)	48 (160)	64 (210)	96 (315)	192 (630)

フロントパネルの説明

nanoNXAMP4/nanoNXAMP4-Dには、5つのフロントパネルインジケータがあります。



STATUS（状態）インジケータ

このLEDには4つの状態があります。

- 消灯: nanoNXAMP4/nanoNXAMP4-Dに電源が入っていない、または電源に接続されていません。
- 緑: nanoNXAMP4/nanoNXAMP4-Dは動作中です。
- 緑点滅: nanoNXAMP4/nanoNXAMP4-Dはスタンバイモードです。
- オレンジ色: nanoNXAMP4/nanoNXAMP4-DはGPIOによってスタンバイモードがトリガーされています。

INPUT（入力）インジケータ

このLEDには3つの状態があります。

- 消灯: 入力信号はありません。
- 緑: 1つ以上の入力に信号があります。
- オレンジ色: 1つ以上の入力でリミッティング/クリッピングが発生しています。

OUTPUT（出力）インジケータ

このLEDには4つの状態があります。

- 消灯: 出力信号はありません。
- 緑: 1つ以上の出力に信号があります。
- オレンジ色: 1つ以上の出力でリミッティング/クリッピングが発生しています。
- 赤: 過負荷により1つ以上のチャンネルペアが保護状態です。

NETWORK（ネットワーク）インジケータ

このLEDには2つの状態があります。

- 消灯: Ethernetネットワークが検出されていません。
- 緑: Ethernetネットワークが検出されています。

WIFI（Wi-Fi）インジケータ

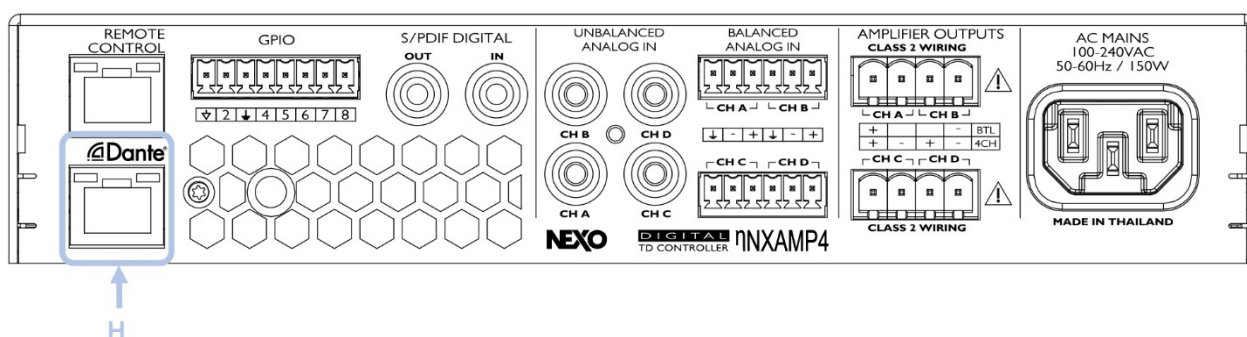
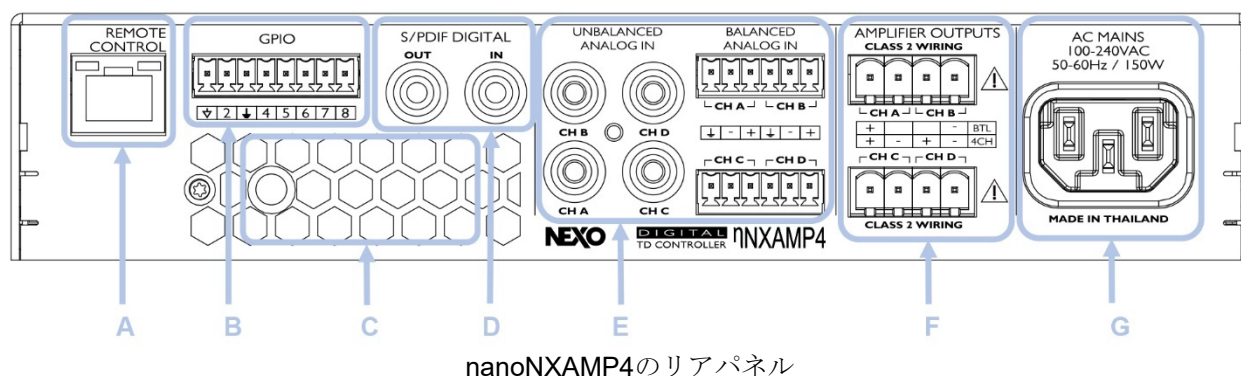
このLEDには2つの状態があります。

- 消灯: Wi-Fiが無効です。
- 緑: Wi-Fiが有効です。

注意: nanoNXAMP4/nanoNXAMP4-DのWi-Fiは2.4GHz帯で動作します。最大出力電力は20 dBm (=100 mW) です。

リアパネルの説明

nanoNXAMP4とnanoNXAMP4-Dのリアパネルには違いがあり、nanoNXAMP4-Dは追加のDante（Audio over IP）ポートを搭載しています。



A: REMOTE CONTROL（リモートコントロール）ポート

このRJ45は、nanoNXAMP4の100 Mb Ethernet（100BASE-T）ネットワーク接続機能を提供します。各出力に接続するNEXOスピーカーを正しく選択するために、適切に設定された有線または無線（Wi-Fi）ネットワークに少なくとも1回接続する必要があります。

ネットワーク接続を利用して、POE（Power Over Ethernet）対応の専用ハードウェアリモートコントローラーNANORM-EU（EU規格）またはNANORM-US（US規格）によるnanoNXAMP4のリモートコントロールにも対応しています。外部リモートコントロールの設定方法については、本マニュアルで後述します。

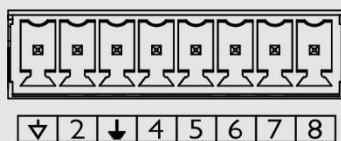
B: GPIO ポート

GPIOポートは、nanoNXAMP4と外部リモートコントロールまたはモニタリング機器との接続、12 Vトリガー、ミュート、スタンバイモードへの移行、ボリューム調整などの簡単な操作に使用します。

⚠ 警告

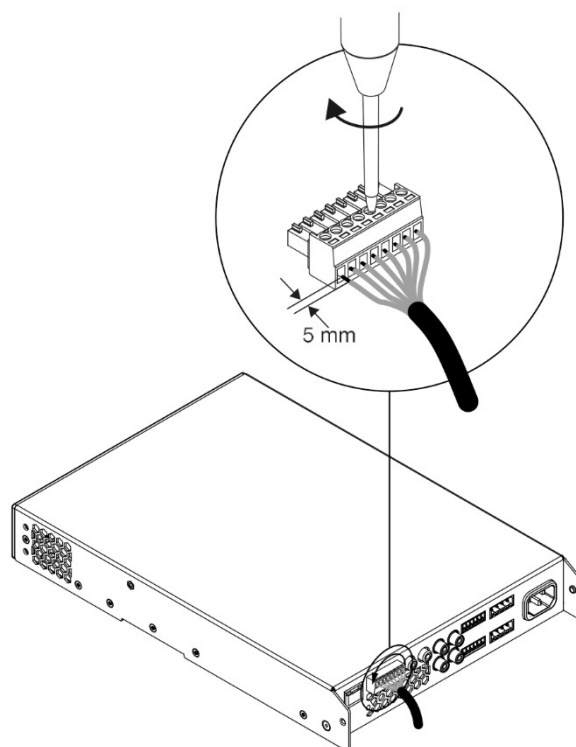
初期ロットのnanoNXAMP4では、リアパネルのGPIOの印字が逆になっています。本マニュアルに記載されているGPIOの順序を参照してください。

GPIO

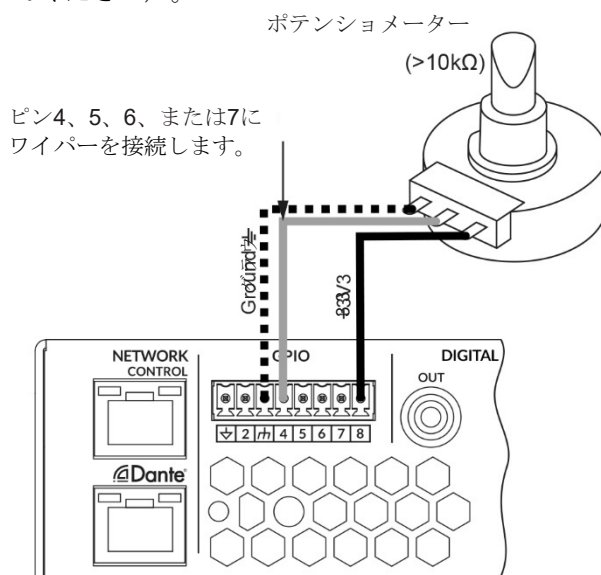


- GPIOコネクタを意図しない用途に使用しないでください。GPIOの不適切な使用はアンプの破損につながる恐れがあります。
- GPIOを介してスタンバイスイッチおよびポテンショメーターを接続する場合は、シールドケーブルの使用が必須です。
- GPIOピン8は出力インピーダンスが低く、供給できる電流は最大10 mAです。
- GPIOピン1とピン3はどちらもグラウンド接続で、ピン1はアンプのシャーシに直接接続されています。ピン3は220 Ωの抵抗器を介してシャーシに接続されています。ピン3の「ソフトグラウンド」接続は、可聴ハムノイズの原因となるグラウンドループの抑制に役立つ場合があります。

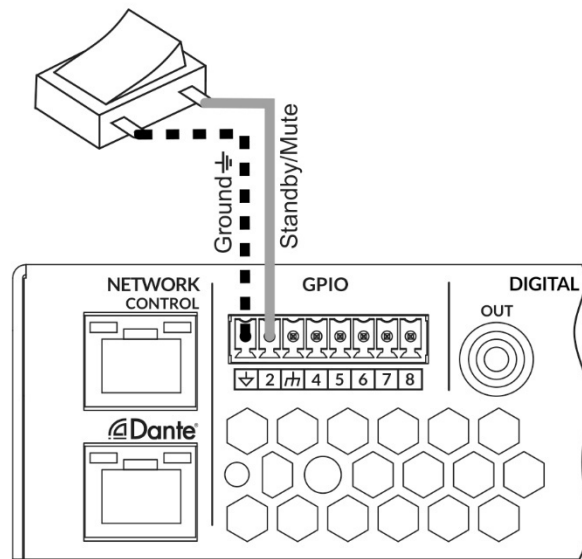
GPIO接続は、下の図のように、一般的な0.25 mm² (24 AWG) の単線またはマルチコアケーブルの被覆を5 mm剥いて行ないます。



下の図は、GPIOを介してリモートボリュームコントロールを行なうためのポテンショメーターの接続方法を示しています。ボリュームコントロールにはピン4からピン7を使用できます（本マニュアルで後述するGPIO設定メニューを参照してください）。

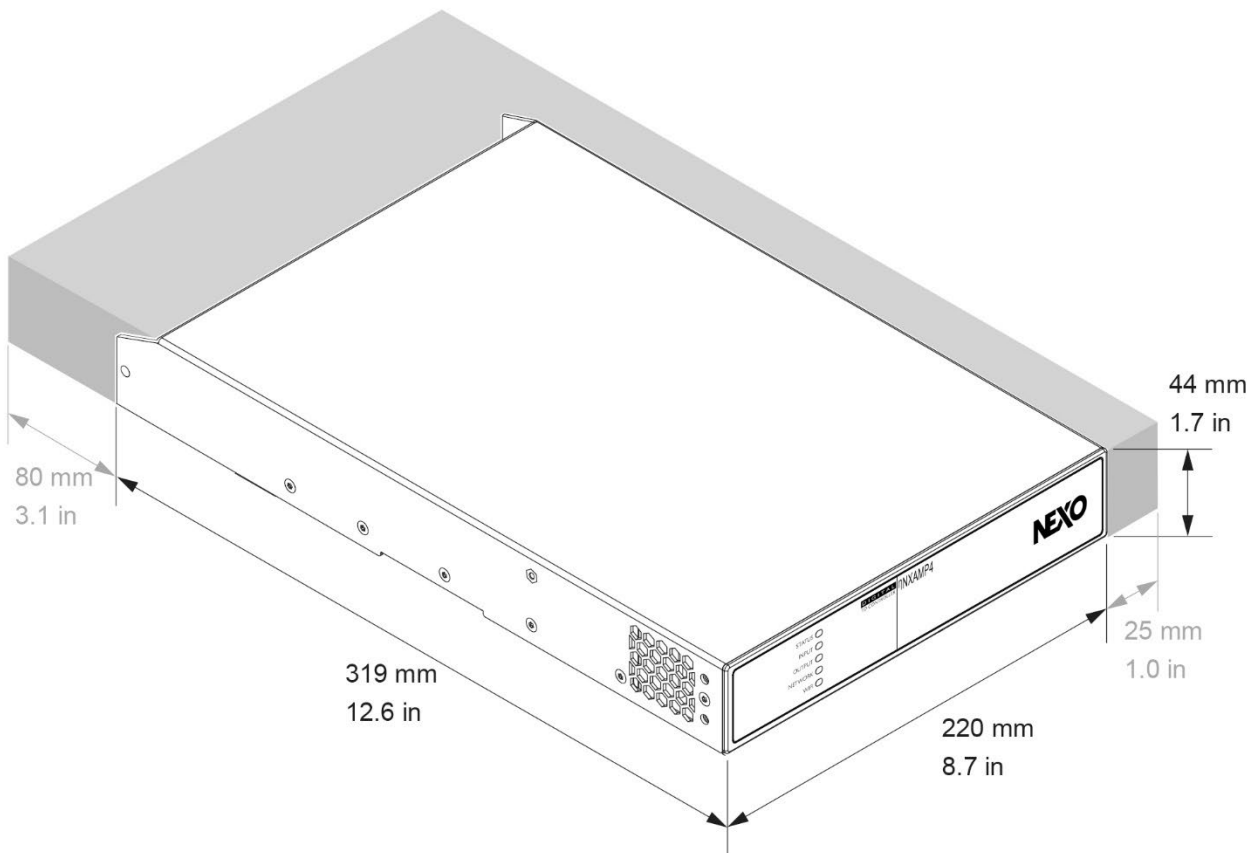


下の図は、GPIOを介してユニットのスタンバイまたはミュートを制御するためのスイッチ接続を示しています。スイッチのオープンまたはクローズにより、GPIO設定メニューで選択したオプションに応じてスタンバイまたはミュートが切り替わります。



C: 排気口

nanoNXAMP4の背面にある排気口を塞がないようにしてください。また、通気のためにユニット後方に少なくとも80 mmのスペースを確保してください。吸気口はユニットの両側面にあるため、少なくとも一方の側面に25 mmのスペースが必要です。



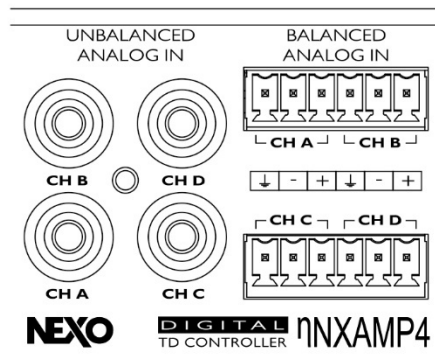
D: S/PDIF インターフェース

nanoNXAMP4はRCAフォノソケットによるS/PDIF入出力インターフェースを備えており、デジタルオーディオソース（TVレシーバーやネットワークストリーマーなど）への接続や、nanoNXAMP4のアナログ入力、Input Mix、またはArea Mixの一部を他のデバイス（デジチチェーン接続された他のnanoNXAMP4ユニットなど）に出力するために使用できます。S/PDIFの出力ソースはソフトウェアで設定してください。S/PDIFの接続には、必ずデジタルオーディオ専用の75Ω RCAフォノケーブルを使用してください。標準のフォノケーブルも使用できますが、最適なパフォーマンスが得られない場合があります。

S/PDIFの出力レベルはデフォルトで-10 dBに設定され、後段の入力クリッピングの可能性を低減します。

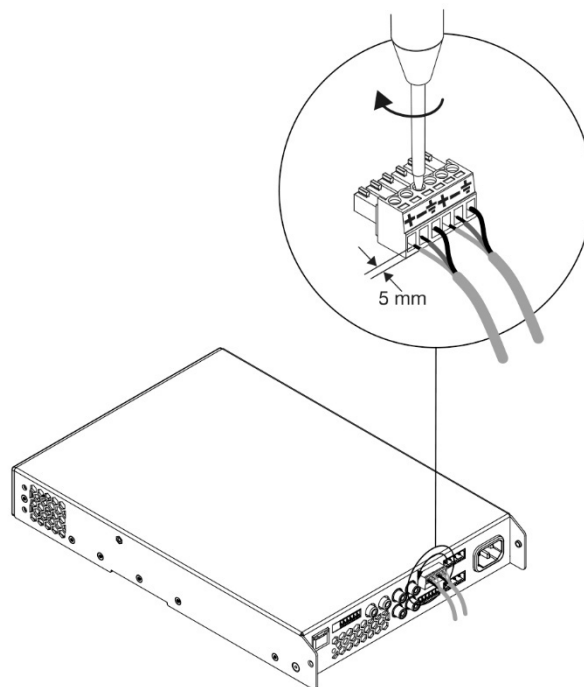
E: アナログ入力

nanoNXAMP4には4つのアナログ入力があり、それぞれバランス接続用のユーロブロックコネクタと、パラレル接続されたアンバランス接続用のRCAフォノソケットを備えています。



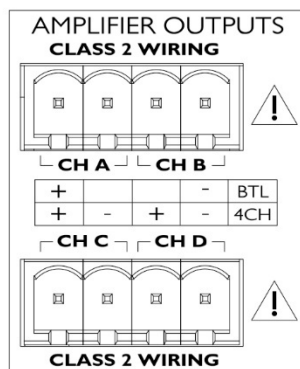
アナログ感度はソフトウェアで調整でき、マイク感度から最大+24 dBu（バランス接続時）まで設定できます。

アナログバランス接続は、下の図のように、一般的な0.25 mm²（24 AWG）の単線またはマルチコアケーブルの被覆を5 mm剥いて行ないます。



F: パワーアンプ出力

nanoNXAMP4には4つのパワーアンプ出力があり、2つずつブリッジ接続（ブリッジタイドロード: BTL）で出力電力を増大できます。



⚠警告

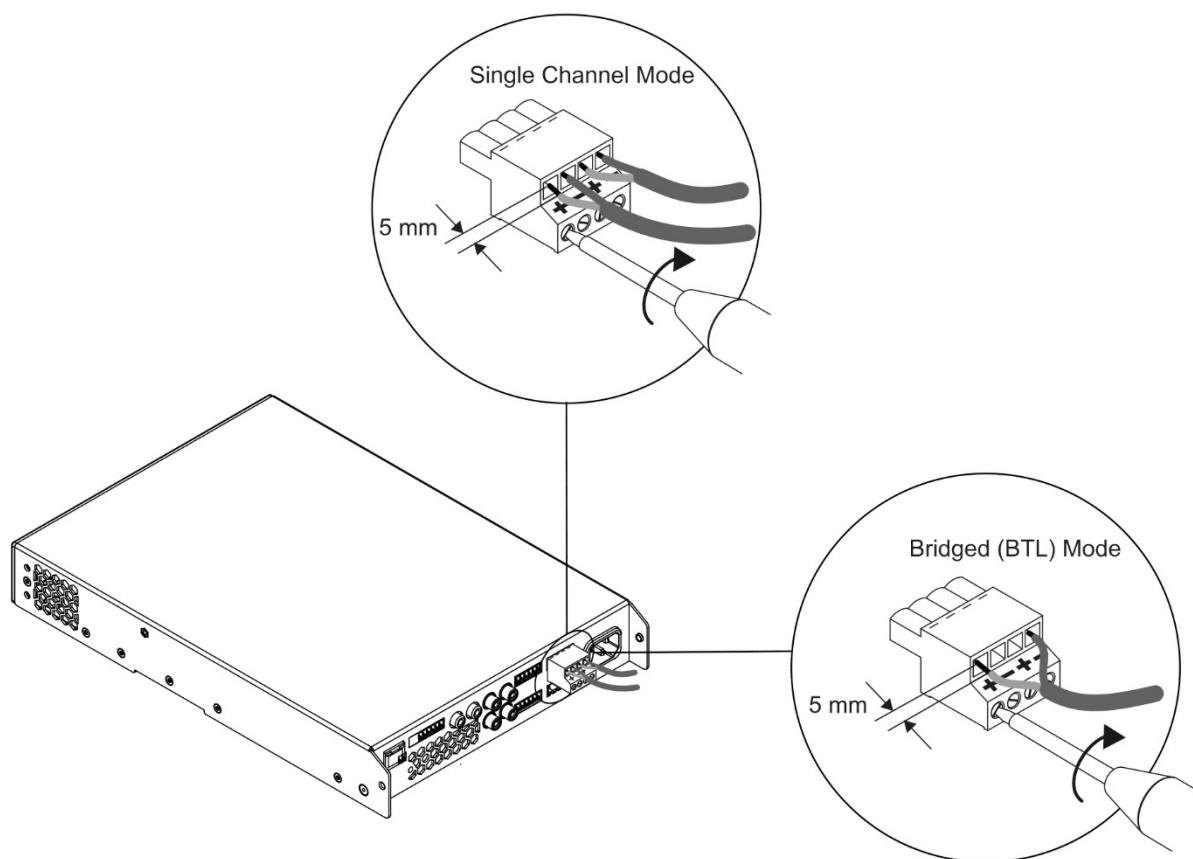
アンプの出力端子の横に印刷された感嘆符は、CLASS 2配線テストに加えて、危険電圧のリスクをユーザーに警告するためのものです。危険を伴う可能性がある出力コネクタには感嘆符が表示されています。アンプの電源が入っている間は、出力端子に触れないでください。すべての接続はアンプの電源を切った状態で行なってください。

選択したNEXOスピーカーに応じて、アンプは自動的にシングルアンプチャンネルモードまたはBTL（2チャンネルブリッジ）モードに設定されます。

チャンネルAにシングルアンプチャンネルモードが呼び出された場合、CH Aのアンプ正（+）端子をスピーカーの正端子に、CH Aのアンプ負（-）端子をスピーカーの負端子に接続し、チャンネルB、C、Dも同様に接続してください。

チャンネルA（およびチャンネルB）にブリッジ（BTL）アンプチャンネルモードが呼び出された場合、スピーカーケーブルの2本の導体をCH Aの正（+）端子とCH Bの負（-）端子にそれぞれ接続し、チャンネルCとDも同様に接続してください。

付属の出力コネクタ（メス）へのケーブル接続方法は下図の通りです。



G: 主電源コネクタ

nanoNXAMP4は高効率の能動型PFC（力率補正）システムを持ち、これにより100 Vから240 Vの50 Hzおよび60 Hzの主電源を許容します。

⚠ 警告

接続する前に現地の主電源の値を確認し、nanoNXAMP4の要件に適合することを確認してください。

接続負荷別のnanoNXAMP4の主電源電力の要件については、この文書の仕様ページを参照してください。主電源接続には付属の電源コードを使用します。nanoNXAMP4には主電源スイッチがないため、主電源に接続するとすぐに動作します。アンプを主電源に接続する前に、すべての信号、GPIO、および出力の接続を行なってください。


H: DANTE インターフェース（NANONXAMP4-Dのみ）

nanoNXAMP4-Dには、100 Mb（100BASE-T）リンクのDante（Audio over IP）ネットワークに接続するためのRJ45コネクタが追加搭載されています。Danteネットワークのルーティングおよび設定は、AudinateのウェブサイトからダウンロードできるDante Controllerを使用して行なえます。

このDanteインターフェースはnanoNXAMP4のリモートコントロールインターフェースとは完全に独立し、Dante Controllerで設定できる独自のIP設定を持っています。Dante用とリモートコントロール用には、それぞれ別々のネットワークを使用できます。ただし、両方のRJ45を同じEthernetスイッチに接続し、共通のネットワークを使用することもできます。

nanoNXAMP4 対応セットアップ一覧

以下は、このファームウェアバージョン (V1.6.5) に対応するNEXOキャビネットの一覧です。新しいキャビネットのサポートを有効にするためのファームウェアアップデートは、nexo-sa.comでご確認ください。

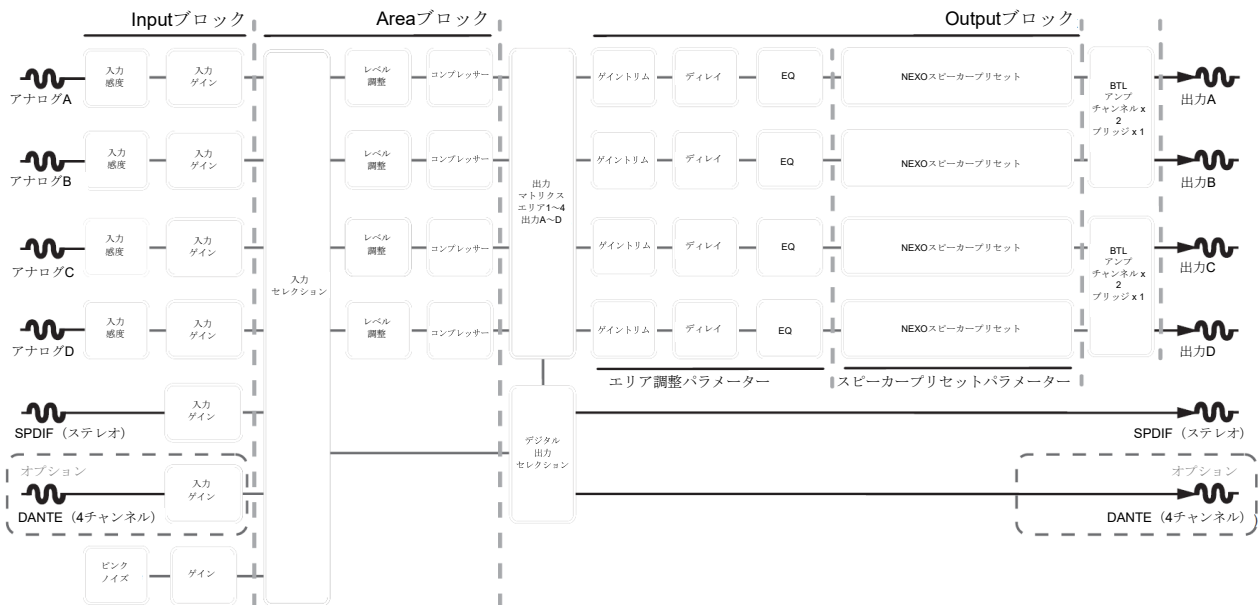
Family	Type	Cabinet	Mode	Crossover	nanoNXAMP4 mode			
	PASSIVE	ID14 100x100	Main	120-20k	Single Channel			
			Lounge	150-20k				
			ID14 140x90	Main		120-20k		
				Lounge		150-20k		
		PASSIVE		ID24 120x40		Main	95-20k	Single Channel
						Front Fill	120-20k	
			Monitor			150-20k		
			Lounge			95-20k		
	ID24 120x60		Main	120-20k				
			Front Fill	150-20k				
			Monitor	95-20k				
			Lounge	120-20k				
	ID24 90x40	Main	150-20k					
		Front Fill	95-20k					
		Monitor	120-20k					
		Lounge	150-20k					
	ID24 60x60	Main	95-20k					
		Front Fill	120-20k					
		Monitor	150-20k					
		Lounge	95-20k					
	PASSIVE	ID84	Narrow	120-20k	Single Channel			
			Broad	90-20k				
		ID84L	Narrow	120-1.5k				
			Broad	90-1.5k				
SUB	IDS108	Omni	50-120	Single Channel				
	SUB	IDS110	Omni or Cardio Front	50-150	Bridged Channels (BTL)			
Cardio Back			40-85					
			40-95					
40-120								

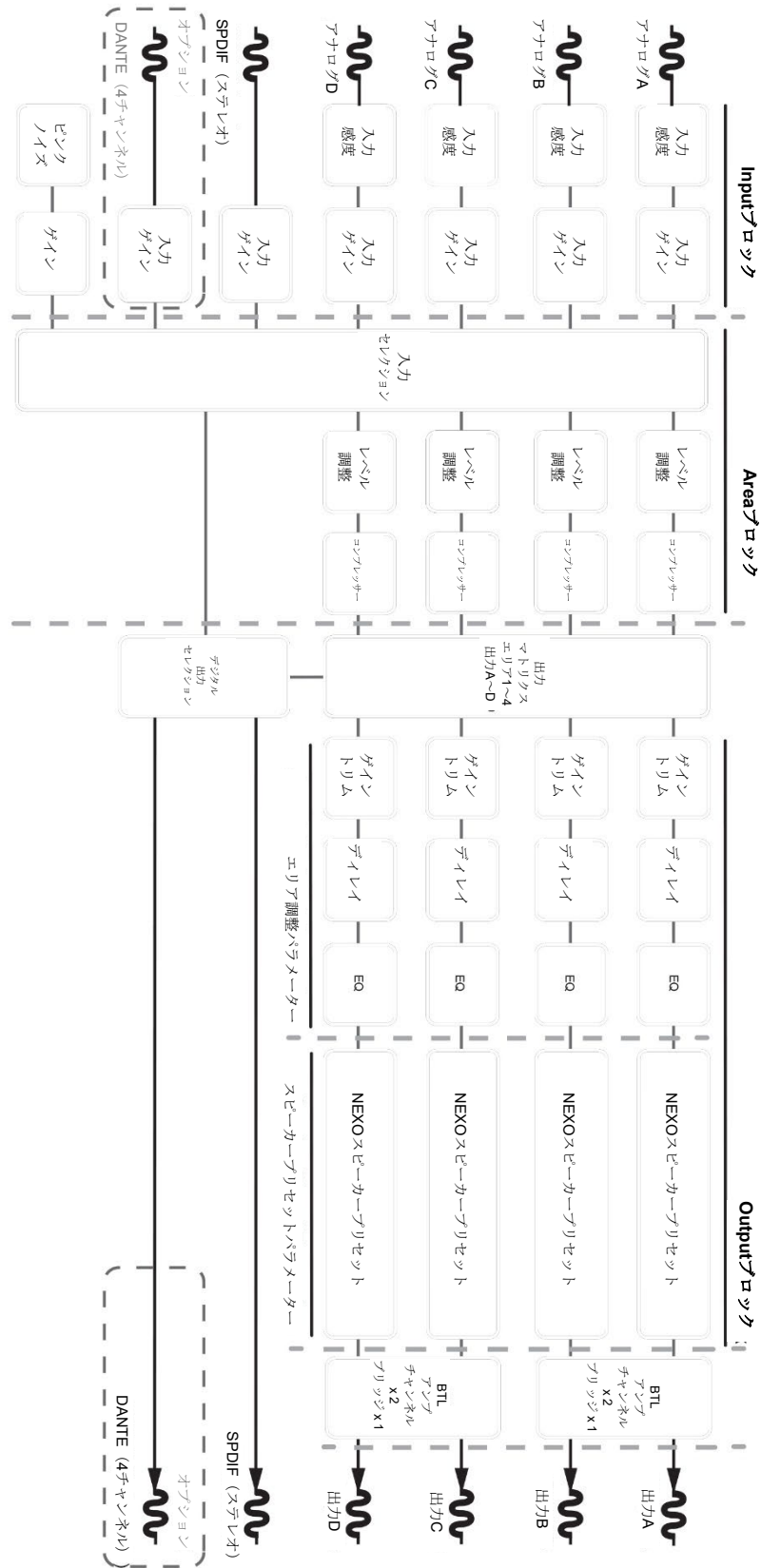
Family	Type	Cabinet	Mode	Crossover	nanoNXAMP4 mode	
εLS	SUB	eLS400		45-85	Bridged Channels (BTL)	
				45-120		
				45-150		
εPS	PASSIVE	ePS6		90-20k	Single Channel	
				120-20k		
				150-20k		
	PASSIVE	ePS8			80-20k	Single Channel
					85-20k	
					120-20k	
	PASSIVE	ePS10			70-20k	Single Channel
					85-20k	
					120-20k	

nanoNXAMP4 DSP ブロックダイアグラム

リモートコントロールソフトウェアの説明に入る前に、デジタルオーディオシグナルプロセッサ（DSP）の内部ブロックを理解しておくことが重要です。以下のダイアグラムを参照してください。DSP構造には、3つの主要な論理ブロックが順に配置されています。

- **Inputブロック**: このブロックは、アナログ、デジタル、ネットワーク（nanoNXAMP4-Dのみ）の各入力、またはユニットの内部ジェネレーターを扱います。各入力は、4つある「Mix」のいずれかでミックスできます。
- **Areaブロック**: この4つのブロックはユニットの中核であり、入力セレクション（ダイレクトまたはいずれかの「Mix」から）、プライオリティー入力セレクション、およびプライオリティーモード（PriorityまたはDucking）を扱います。
- **Outputブロック**: この4つの出力はパワーアンプモジュールに対応し、選択したNEXOスピーカー向けのDSP処理を行ないます。各出力には、エリアの出力を1つルーティングする必要があります。ブリッジ（BTL）設定の場合、2つの出力（A+BまたはC+D）がペアとして使用され、1つのスピーカーに送られます。





nanoNXAMP4 の起動

nanoNXAMP4の起動は簡単に行なえます。すべての配線を済ませて主電源を供給すると、フロントパネルのSTATUS LEDが点灯し、デバイスの設定を行なえるようになります。

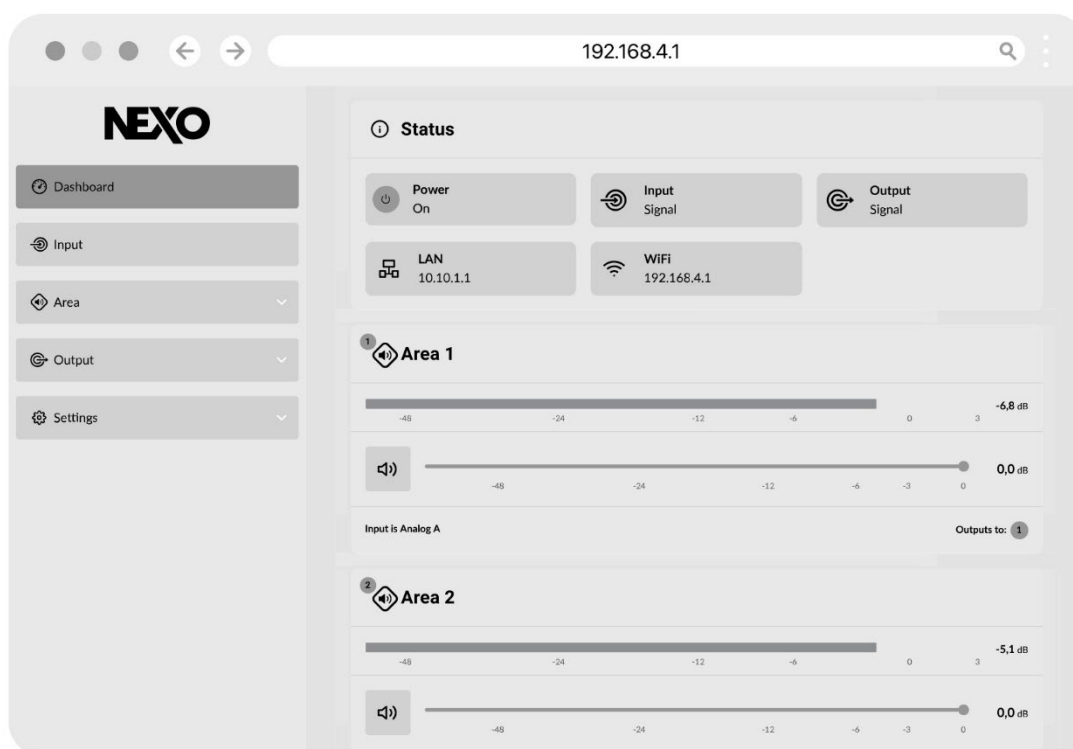
設定を行なうには、ネットワークポートまたはWi-Fi接続経由で内蔵ウェブページにアクセスする必要があります（nanoNXAMP4のWi-Fi接続モードのデフォルトはアクセスポイントモードです）。

初回設定ではWi-Fi経由でデバイスにアクセスし、有線ネットワークのIPアドレスを確認するか、IP設定を変更することをおすすめします。

ネットワークコントロールのワイヤレス接続

Wi-Fi機能とウェブブラウザを備えたモバイル、ラップトップ、またはデスクトップデバイスが必要です。以下の手順に従ってください。

1. nanoNXAMP4アンプを主電源に接続し、フロントパネルのWi-Fiインジケータが緑色に点灯するまで待ちます。
2. モバイル、ラップトップ、またはデスクトップデバイスでWi-Fiネットワークを検索します。パスワード「password」を使用して「Nexo NANONXAMP4 [製品シリアル番号]」に接続します。アンプのシリアル番号はリアパネルに記載されています。
3. モバイル、ラップトップ、またはデスクトップデバイスのウェブブラウザを開き、IPアドレス「192.168.4.1」を入力します。ブラウザアプリにアンプ設定ウェブインターフェースのページが開き、必要に応じてアンプの設定を行なえます。



初回のワイヤレス接続後は、nanoNXAMP4アンプのWi-Fiパスワードを変更することを強くおすすめします。

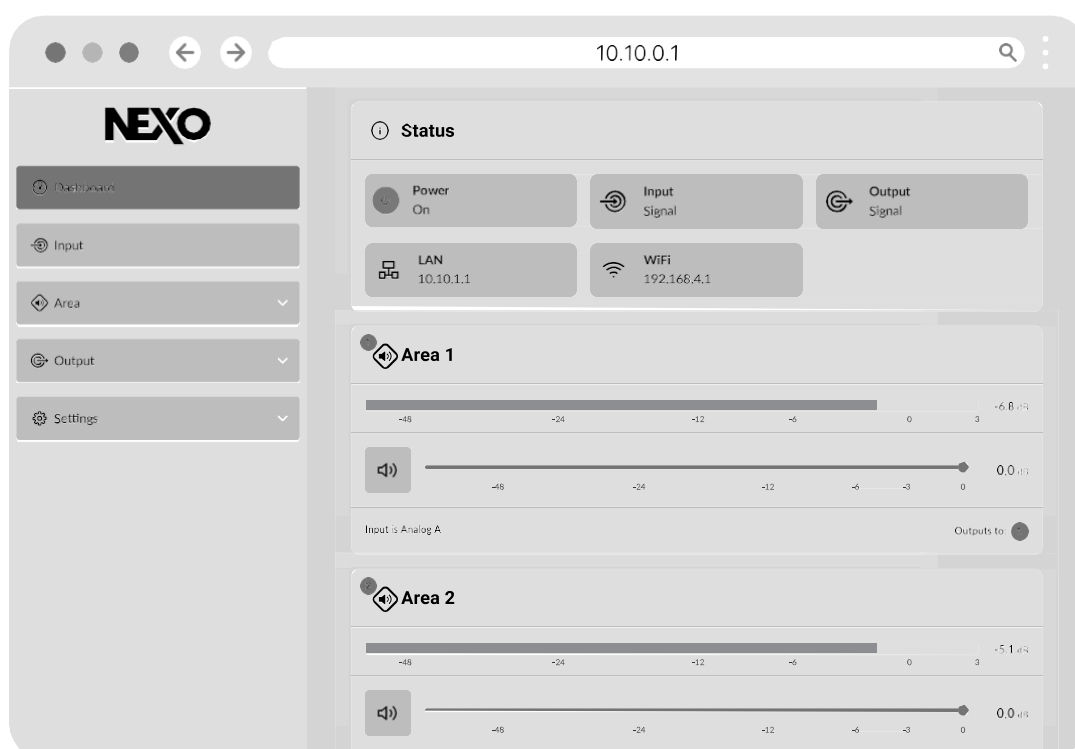
有線ネットワーク（LAN）に接続されている場合は、このウェルカムページからIPアドレスを確認できます。または、「Settings」>「LAN」に移動し、LANの条件に合わせてIPパラメーターを調整します。

ネットワークコントロールの有線接続

Ethernet機能とウェブブラウザを備えたラップトップまたはデスクトップデバイスが必要です。ネットワークスキャンアプリがあると便利です。

以下の手順に従ってください。

1. Ethernetケーブルを使用して、nanoNXAMP4アンプのNetwork Controlソケットをネットワークルーターまたはネットワークスイッチの空きソケットに接続します。
2. nanoNXAMP4アンプを主電源に接続し、フロントパネルのNetworkインジケータが（アンプにIPアドレスが割り当てられたことを示す）緑色に点灯するまで待ちます。
3. Wi-Fiインターフェースで確認したLANのIPアドレスを参照するか（上記参照）、ネットワークスキャンアプリを使用してネットワークルーターがnanoNXAMP4アンプに割り当てたIPアドレスを確認します。
4. ラップトップまたはデスクトップデバイスのウェブブラウザを開き、上記手順3で確認したIPアドレスを入力します。アンプ設定ウェブインターフェースのページが開き、必要に応じてアンプの設定を行なえます。



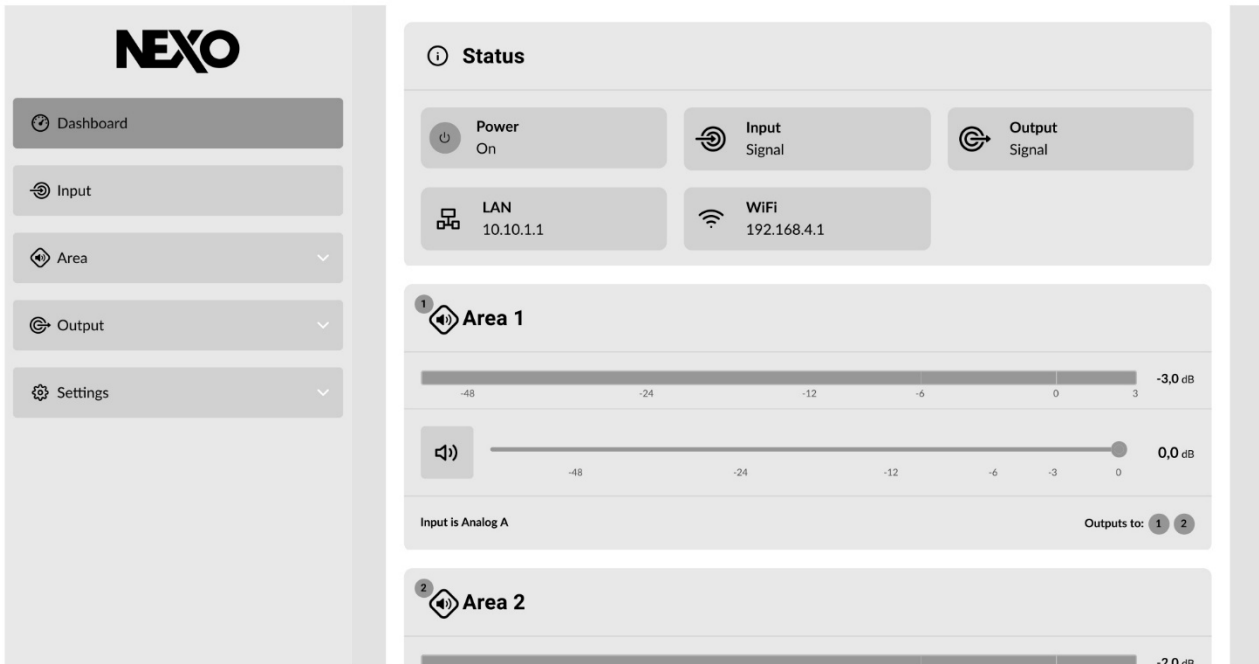
リモートコントロールページの説明

上記のスクリーンショットには、リモートコントロールウェブページの左側に5つのカテゴリが表示されています。各カテゴリについては、以下で詳しく説明します。

1. **Dashboard:** 信号ステータス、有線（LAN）およびWi-FiネットワークのIPアドレス、各エリアのレベル/ミュートなどの一般情報を表示します。
2. **Input:** レベル、ゲイン、位相反転、感度（アナログ入力の場合）などの入力関連パラメーターの調整や、入力ミックスの設定を行なえます。
3. **Area:** プライオリティー入力やコンプレッサーの設定とともに、入力（または入力ミックス）のルーティングを行なえる、nanoNXAMP4の中核です。
4. **Output:** ここでエリアの出力をNEXOスピーカープリセットDSPおよびパワーアンプ出力にルーティングします。NEXOスピーカープリセットによっては、2つのパワーアンプチャンネルをブリッジ（BTL）モードで使用できます。

Dashboard ページの説明

Dashboardページには、電源ステータス、入出力信号の有無、LANおよびWi-Fi接続のIPアドレスなど、nanoNXAMP4に関する主要情報がまとめられています。



各エリアには（詳細はDSPブロックダイアグラムを参照）、ミュート、アッテネーター、およびレベルメーターが用意されています。選択した入力とアンプ出力のルーティングも表示されます。

Input ページの説明

Inputページでは、アナログおよびデジタル入力に関するすべての設定にアクセスできます。ヘッダーの入力タイプ（Analog、SPDIFなど）をクリックして、以下のパラメーターを調整します。

- Analog:** 4つのアナログ入力A、B、C、D（バランス接続のソース（ダイナミックマイクを含む）にはユーロブロックコネクタ、アンバランス接続のソースにはRCAフォノソケットを使用）には、信号の有無を確認し、マイクレベルから+14 dBuまで選択可能な感度を調整するための入力レベルメーターが搭載されています。ゲイン/トリム機能により、入力ゲインを0.1 dB刻みで-15 dBから+15 dBの範囲で調整できます。さらに、各アナログ入力にはハイパスフィルターと5バンドのパラメトリックEQが搭載されています。「MONO/STEREO」ボタンを切り替えることで、2つの入力をステレオ入力としてリンクできます。入力名をクリックすると、名前を変更できます。
- SPDIF:** SPDIF入力は、2チャンネルのデジタルオーディオ用にRCAフォノソケットコネクタを使用します。内蔵サンプルレートコンバーター（SRC）により、44.1 kHzと48 kHzのどちらのサンプルレートにも対応しています。入力レベルメーターで信号の有無を確認でき、ゲイン/トリム機能により入力ゲインを0.1 dB刻みで-15 dBから+15 dBの範囲で調整できます。「MONO/STEREO」ボタンを押すことで、2つのチャンネルをデュアルモノまたはステレオ信号として切り替えられます。
- Dante:** nanoNXAMP4-Dのみ、Danteロゴが付いた専用ネットワークポートを介してDanteの4つの入力を使用できます。入力レベルメーターで信号の有無を確認でき、ゲイン/トリム機能により入力ゲインを0.1 dB刻みで-15 dBから+15 dBの範囲で調整できます。「MONO/STEREO」ボタンを押すことで、2つのチャンネルをデュアルモノまたはステレオ信号として切り替えられます。

4. **Mix:** 1つのエリアに複数のハードウェア入力を送る必要がある場合は、4つのMixを使用できます。各Mixでは、4つのアナログ入力、SPDIF入力、4つのDante入力をソースとして使用でき、レベルを0.1 dB刻みで-∞から0 dBの範囲で調整できます。Mixは、個々のハードウェア入力と同様に、各エリアのソース入力として使用できます。
5. **Generator:** 内部ジェネレーターは、サイン波（周波数調整可能）またはピンクノイズ（ハイパスおよびローパスフィルター付き）を生成できます。出力レベルは-48 dBから0 dBの範囲で調整できます。



Area ページの説明

Areaは、nanoNXAMP処理の中心となるブロックであり、ユニットのInputブロックとOutputブロックの間に位置します（詳細はDSPブロックダイアグラムを参照）。ヘッダーのエリア番号（1、2...）をクリックして、選択したエリアのパラメーターを調整します。エリアは名前の変更（名前をクリック）やステレオペアへのグループ化（「Mono/Stereo」ボタンをクリック）が可能で、出力ボリュームはミュートから0 dBの範囲で0.1 dB刻みで調整できます。スピーカーアイコンをクリックすると、特定のエリアのミュート機能を切り替えられます。Areaページは以下の4つのセクションに分かれています。

1. **Source:** 選択したエリアに接続するプライマリー入力と、必要に応じてプライオリティー入力を選択します。エリアでは、通常は選択されたプライマリー入力を使用されますが、プライオリティー入力の信号がある間だけそれが優先されます。優先動作には2つのモードがあります。「Priority」モードでは、プライオリティー入力が調整可能なしきい値を超えると、プライマリー入力が単純にミュートされます（必要に応じて新しい設定でエリアボリュームを上書きできます）。「Ducking」では、プライオリティー入力がしきい値を超えると、プライマリー入力のレベルが低下します。

The screenshot shows the NEXO control interface. On the left is a sidebar with the NEXO logo and navigation menu: Dashboard, Input, Area (selected), Source, Volume, Restrictions, Compressor, Output, and Settings. The main content area is titled 'Area 1' and features several controls:

- At the top, a tab bar with options 1, 2, 3, and 4, where '1' is selected.
- A 'MONO' volume slider set to -6.7 dB.
- A speaker icon volume slider set to 0.0 dB.
- A 'Source' section with three modes: OFF, PRIORITY (selected), and DUCKING.
- Under 'PRIORITY' mode, two dropdown menus: 'PRIMARY INPUT' set to 'Analog A' and 'PRIORITY INPUT' set to 'Dante A'.
- Below these are 'Default' and 'Manual' tabs.
- A 'Threshold [dB]' slider set to -60.0 dB.
- An 'Override Zone Volume' section with a checked checkbox and an 'Override Volume [dB]' slider set to 0.0 dB.

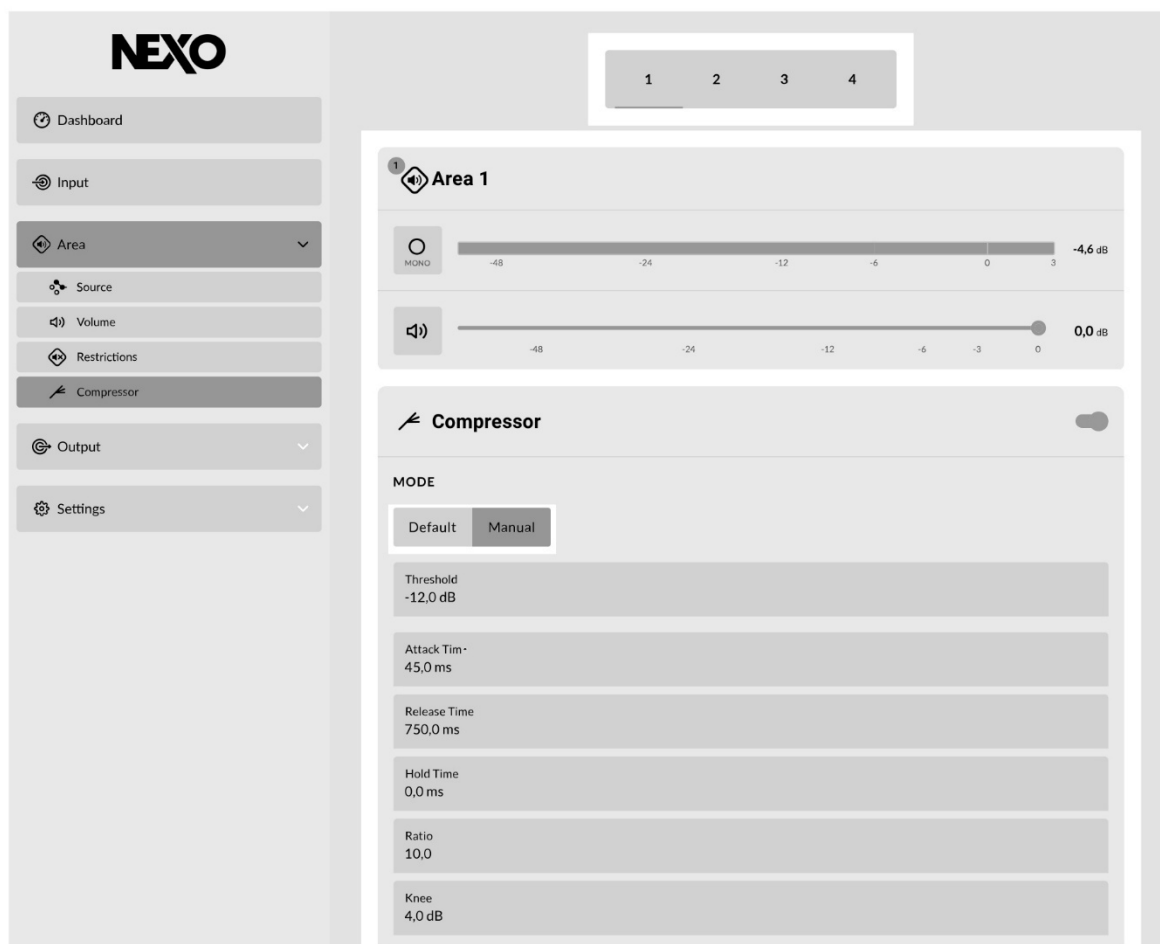
2. **Volume:** このページでは、GPIO制御またはNANORM外部ボリュームコントローラーを介して設定できる最小および最大ボリュームを調整できます（詳細な仕様については本マニュアルで後述）。GPIOボリュームコントロールもこのページで設定します。

The screenshot displays the NEXO software interface. On the left is a navigation menu with options: Dashboard, Input, Area (selected), Source, Volume, Restrictions, Compressor, Output, and Settings. The main content area is titled 'Area 1' and features two volume sliders. The top slider is labeled 'MONO' and has a range from -48 to 3 dB, with a current value of -3.1 dB. The bottom slider is labeled 'Stereo' and has a range from -48 to 0 dB, with a current value of 0.0 dB. Below these is a 'Volume' control section with a 'RANGE' slider from -80.0 dB to 0.0 dB and a 'CURRENT VOLUME' display showing 0.0 dB. There are 'SET MIN' and 'SET MAX' buttons. A 'MUTE' section has a toggle switch for 'Allow mute' which is currently ON. The 'CONTROL' section has radio buttons for 'OFF' (No Volume Control by GPIO), 'GPIO 4' (Volume controlled from GPIO 4), 'GPIO 5' (Volume controlled from GPIO 5), 'GPIO 6' (Volume controlled from GPIO 6, with a note to set GPIO6 as Volume Source to enable), and 'GPIO 7' (Volume controlled from GPIO 7, with a note to set GPIO7 as Volume Source to enable).

3. **Restrictions:** この特定のエリアにルーティングできる入力を選択します。NANORMボリュームコントローラーで表示される入力リストを制限するのに役立ちます。プライマリー入力とプライオリティ入力は制限できません。スイッチを「Allowed」または「Restricted」に切り替えて、ソースのステータスを変更します。

The screenshot displays the NEXO software interface. On the left is a navigation sidebar with the NEXO logo and menu items: Dashboard, Input, Area (selected), Source, Volume, Restrictions, Compressor, Output, and Settings. The main content area is titled 'Area 1' and features two volume sliders: a 'MONO' slider at -0.6 dB and a stereo slider at 0.0 dB. Below these is the 'Restrictions' section, which is expanded to show the 'ANALOG' input category. Under 'ANALOG', there are four input sources: '1 Analog A' (PRIMARY INPUT), '2 Analog B' (Allowed), '3 Analog C' (Restricted), and '4 Analog D' (Restricted). Each source has a corresponding toggle switch. Below the 'ANALOG' section are collapsed sections for 'SPDIF', 'DANTE', and 'MIX'. A note at the bottom right states: 'Restrictions does not apply to "Priority Inputs"'. At the top of the main content area, a small box contains the numbers 1, 2, 3, and 4, with '1' highlighted.

4. **Compressor:** このページでは、各エリアの出力コンプレッサーを調整できます。このコンプレッサーはユーザーが設定でき、NEXOスピーカー設定の保護機能は上書きされません。「Default」モードではしきい値のみ調整可能で、「Manual」モードではコンプレッサーのすべてのパラメーターにアクセスできます。



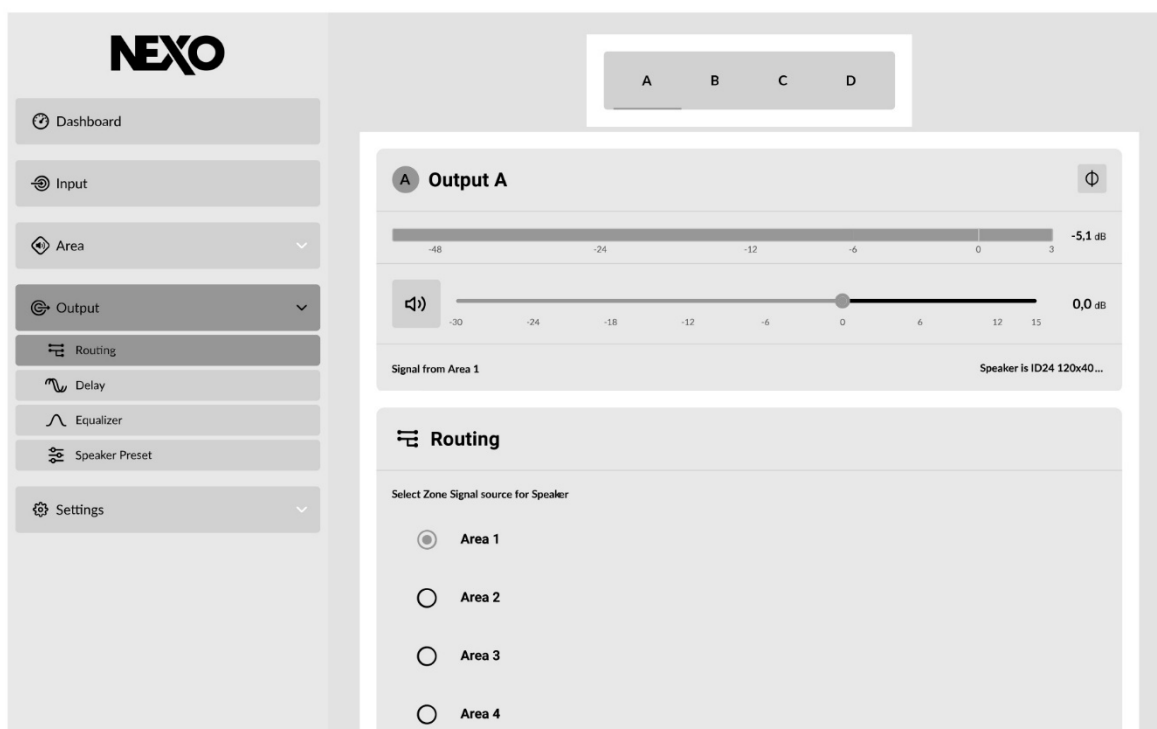
Output ページの説明

Outputページでは、nanoNXAMP4またはnanoNXAMP4-Dで選択されている物理アンプ出力（A、Bなど）のすべてのパラメーターにアクセスできます。スピーカープリセットに応じて、nanoNXAMP4は自動的にブリッジモードに切り替わります。ブリッジモードでは2チャンネルが結合されるため、使用可能なアンプ出力の総数が減少します。

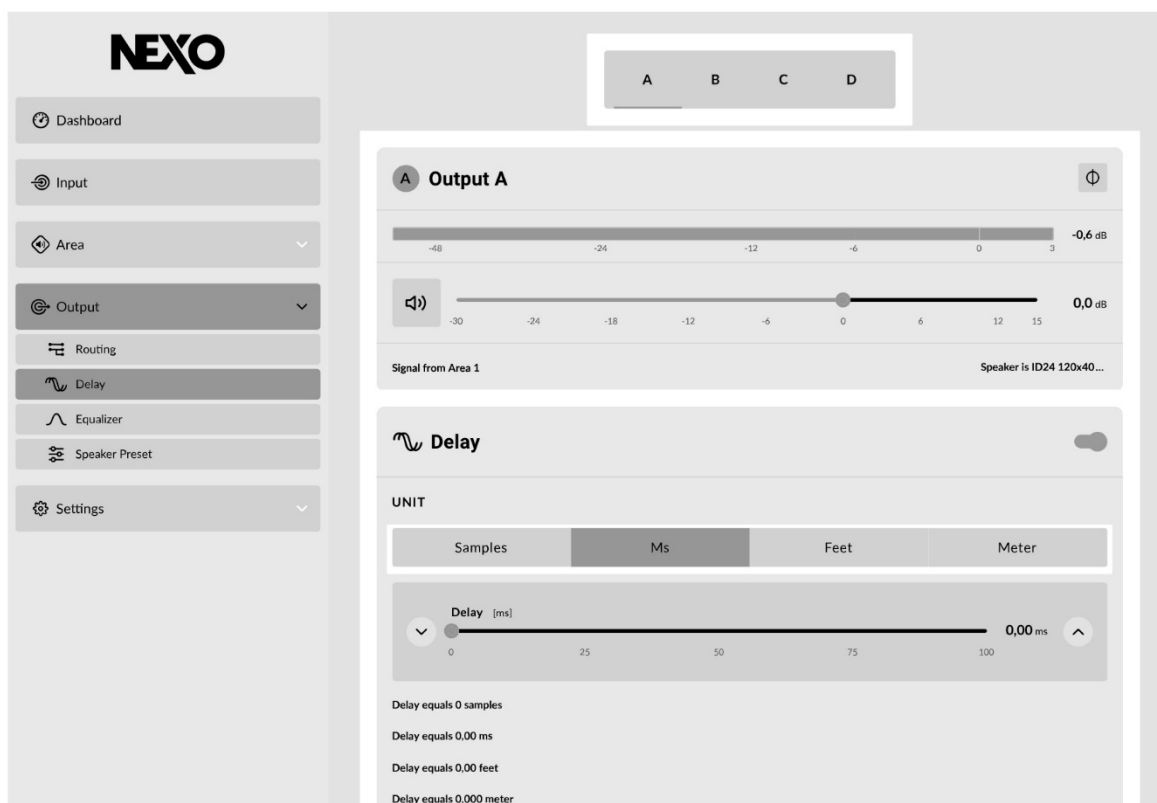
パラメーターを調整する前に、ヘッダーで該当するアルファベットをクリックしてアンプチャンネルを選択してください。Areaページと同様に、各出力にはレベルメーターとボリューム/ミュートコントロールが備わっています。

Outputページは以下の4つのセクションに分かれています。

1. **Routing:** このページでは、選択中のアンプ出力にどのエリアをルーティングするかを選択します。選択できるエリアは1つのみです（ステレオエリアの場合はLeft/Right/Sumチャンネルを選択）が、同じエリアを複数のアンプ出力にルーティングできます。



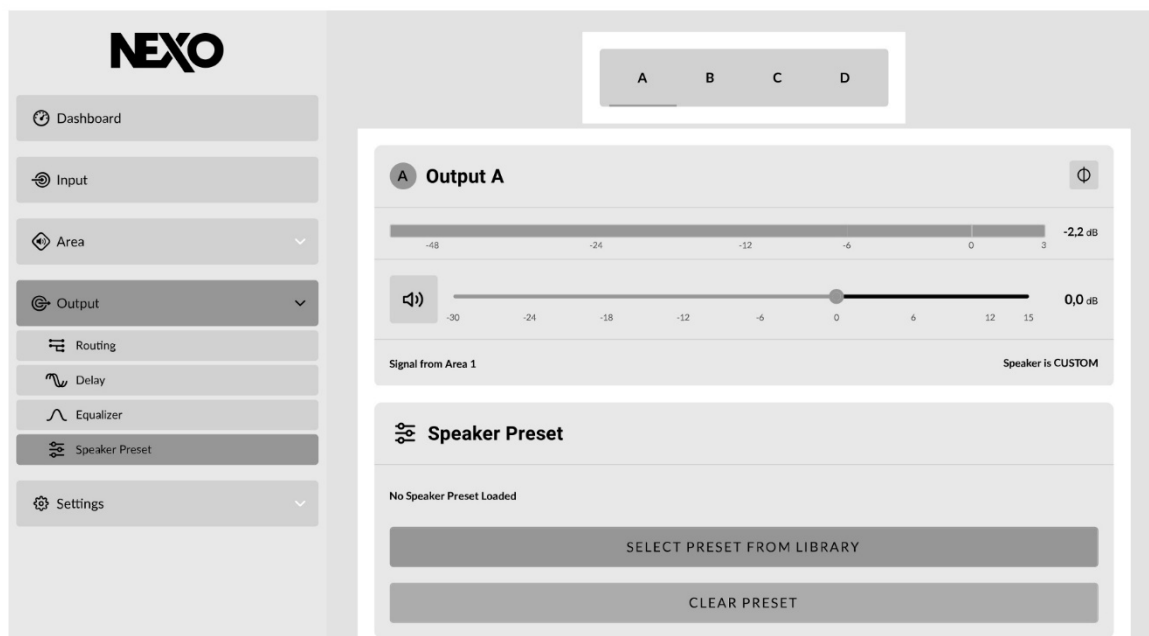
2. **Delay:** スピーカーの物理的な配置に応じて、スピーカー出力の良好なタイムアライメントを確保するため、選択中の出力に加えるディレイを調整します。ディレイは「Samples」、「Ms」、「Feet」、「Meter」で入力でき、最大値はそれぞれ4800サンプル/100ミリ秒/112.50フィート/34.3 mです。



3. **Equalizer:** このページでは、スピーカーの物理的な配置に応じて出力周波数特性を調整し、部屋の音響特性をある程度まで補正するための10バンドパラメトリックEQを設定します。15種類のEQタイプを選択できます（6 dBおよび12 dBのスロープまたは調整可能なQを持つローシェルフ/ハイシェルフ、6 dBまたは12 dBのスロープを持つローパス/ハイパス、1次および2次オールパス、パラメトリック、バンドパス、ノッチ）。

The screenshot displays the NEXO audio control interface. On the left is a sidebar menu with the following items: Dashboard, Input, Area, Output (selected), Routing, Delay, Equalizer, Speaker Preset, and Settings. The main content area is titled 'Output A' and shows two gain sliders: the top one is set to -4.1 dB and the bottom one to 0.0 dB. Below the sliders, it indicates 'Signal from Area 1' and 'Speaker is ID24 120x40...'. The 'EQ' section is active, showing a 10-band parametric EQ graph with a frequency axis from 20 to 20k Hz and a gain axis from -18 to 18 dB. At the bottom of the EQ section are buttons for 'EDIT', 'COPY', and 'CLEAR'.

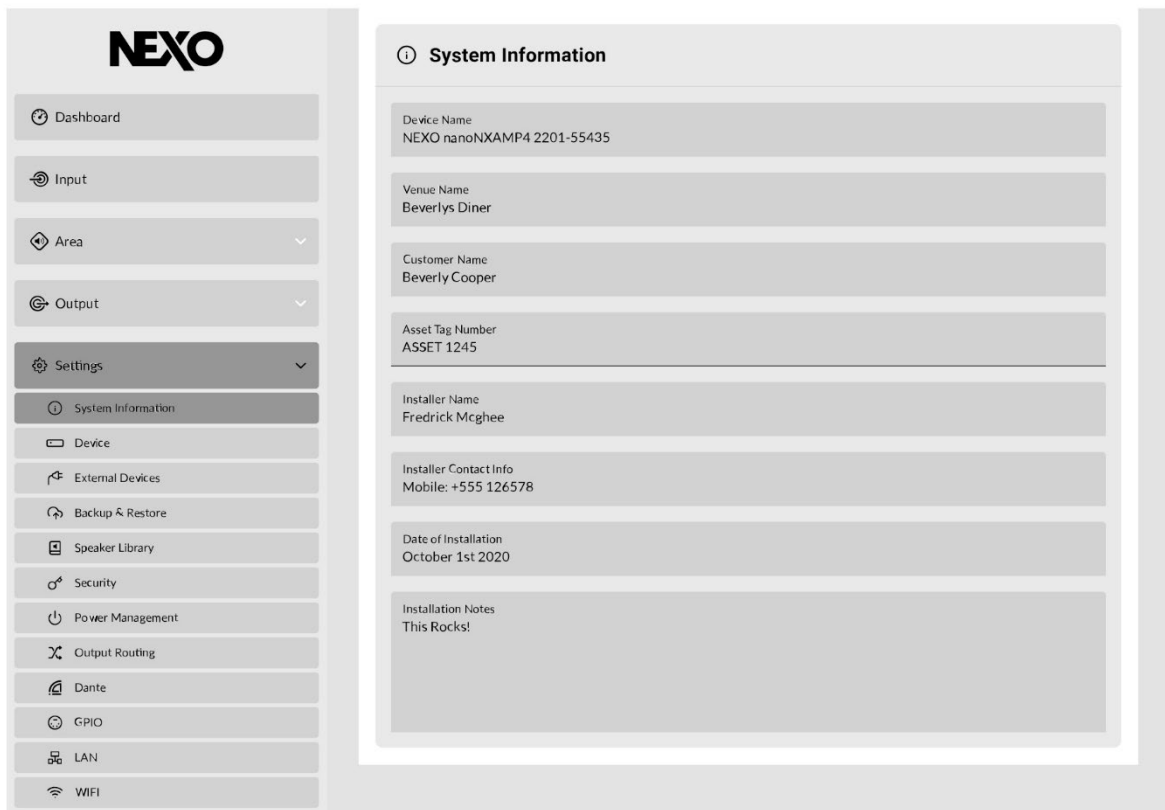
4. **Speaker Preset:** このページでは、選択中のアンプ出力に適用するNEXOスピーカープリセットを選択します。プリセットはスピーカーライブラリーから選択する必要があります（「Select Preset from library」ボタンをクリック）。当社ウェブサイトではnanoNXAMPのファームウェアアップデートを定期的に確認し、新規または更新されたスピーカープリセットを入手してください。「Clear Preset」ボタンを使用してスピーカープリセットを消去すると、アンプ出力はフラットになります。



Settings ページの説明

Settings ページでは、普段は使用しない（セットアップ時などにのみ使用）その他の設定にアクセスできます。各サブページについて以下に説明します。

1. **System Information:** このページには、デバイスを識別するために役立つ編集可能なテキストフィールドがまとめられています。項目には「Device Name」、「Venue Name」、「Customer Name」、「Asset Tag Number」、連絡先情報を含む「Installer Name」、「Date of Installation」、「Installation Notes」があります。



2. **Device:** このページでは、nanoNXAMP4またはnanoNXAMP4-Dに関する情報（シリアルナンバー、ファームウェアバージョン、MACアドレス（LANおよびWi-Fi））を確認できます。ただし、DanteネットワークポートのMACアドレスはDante Controllerから確認する必要があります。
- 「Find Me」ボタンを押すとフロントパネルのLEDが点滅します。「Update」ボタンを使用してデバイスのファームウェアをアップグレードできます（ファームウェアのアップグレードについてはNEXOのウェブサイトをご確認ください）。

The screenshot displays the NEXO web interface. On the left is a navigation sidebar with the NEXO logo at the top and a list of menu items: Dashboard, Input, Area, Output, Settings, System Information, Device, External Devices, Backup & Restore, Speaker Library, Security, Power Management, Output Routing, Dante, GPIO, LAN, and WIFI. The 'Device' menu item is selected and highlighted. The main content area is titled 'Device Information' and contains the following details:

- Manufacturer: Nexo
- Model: NANONXAMP4
- Serial Number: 784054302135
- Firmware Version: 1.6.2 (2024-10-14 06:26:08.729223)
- MAC Address: 9C:41:2B:C2:39:F1
- WiFi MAC Address: 8D:D7:80:05:00:05

Below the device information, there are two sections:

- LOCATOR:** A button labeled 'FIND ME'.
- FIRMWARE UPDATE:** A button labeled 'UPDATE'.

3. **External Devices:** ローカルネットワーク上で検出されたNANORMリモートコントロールデバイス（LANポートまたはWi-Fi経由で接続）が一覧で表示されます。IPアドレスを使用して手動で追加することもできます。

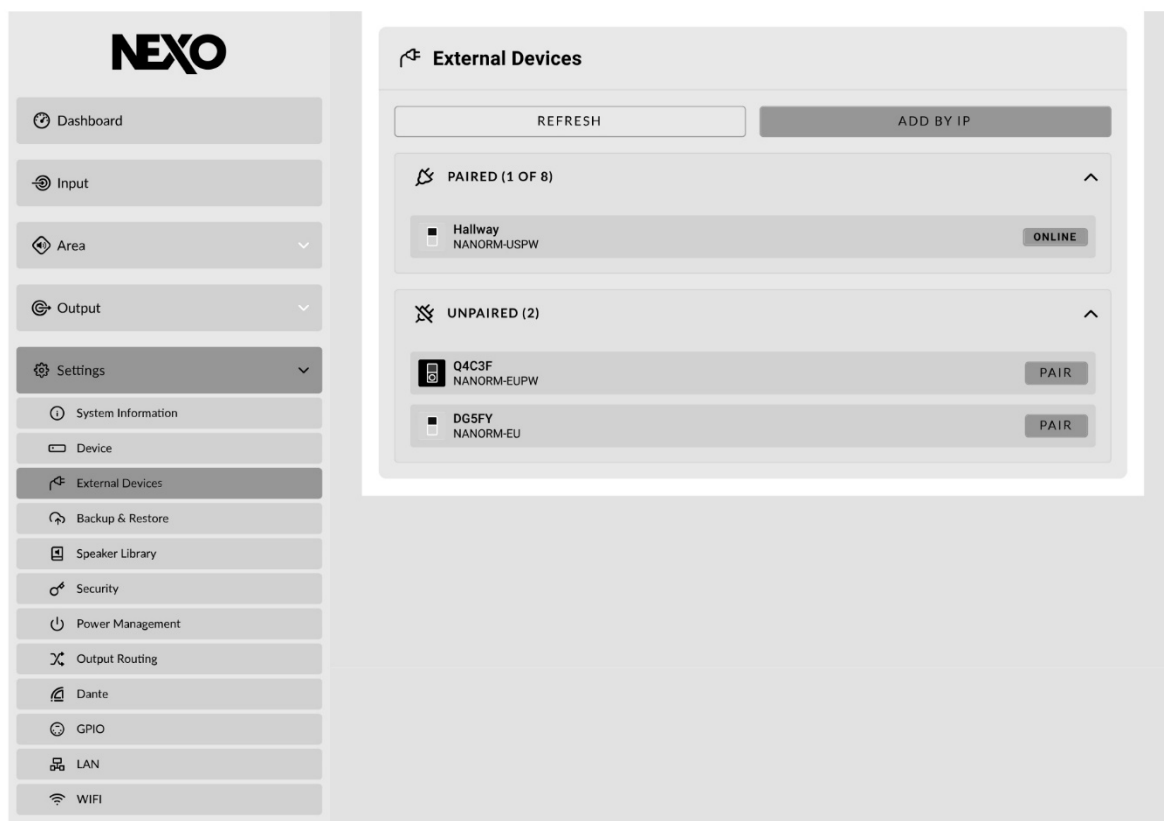
「Pair」ボタンをクリックして、NANORMリモートコントロールデバイスをnanoNXAMP4またはnanoNXAMP4-Dとペアリングします。ペアリング後、NANORMでリモートコントロールするアンプのエリアを選択できます。

NANORMを使用すると、エリアの出力ボリュームを調整したり、現在選択中のソースをプライマリーソースとして選択したりできます。許可されたソースのみが入力リストに表示されます（Areaページの説明 > Restrictionsを参照）。

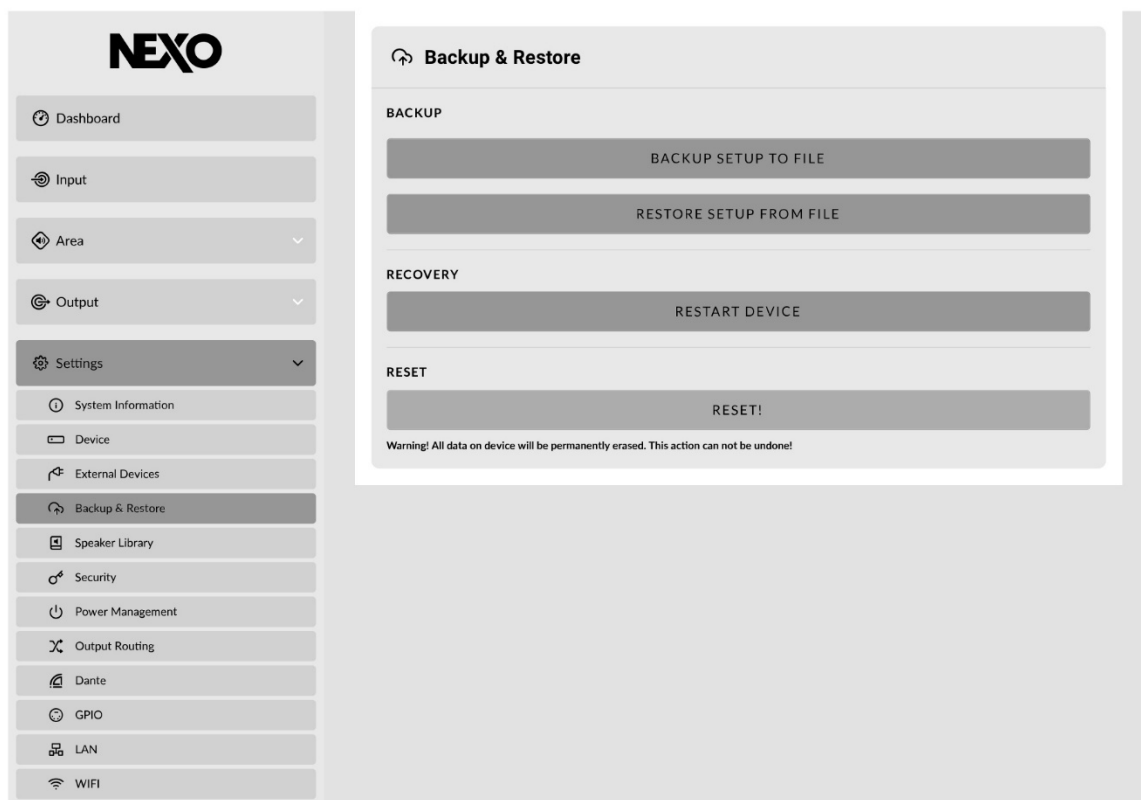
エリアの出力ボリュームを調整するには、NANORMのノブを時計回り（上げる）または反時計回り（下げる）に回します。ボリュームは常にNANORMの画面に0～100のスケールで表示されません。実際のボリューム範囲は設定できます（Areaページの説明 > Volumeを参照）。

選択中のエリアに対しプライマリー入力ソースを選択するには、NANORMのエンコーダーを押して適切なオーディオ入力を選択します。オーディオ入力名は変更できます（Inputページの説明を参照）。

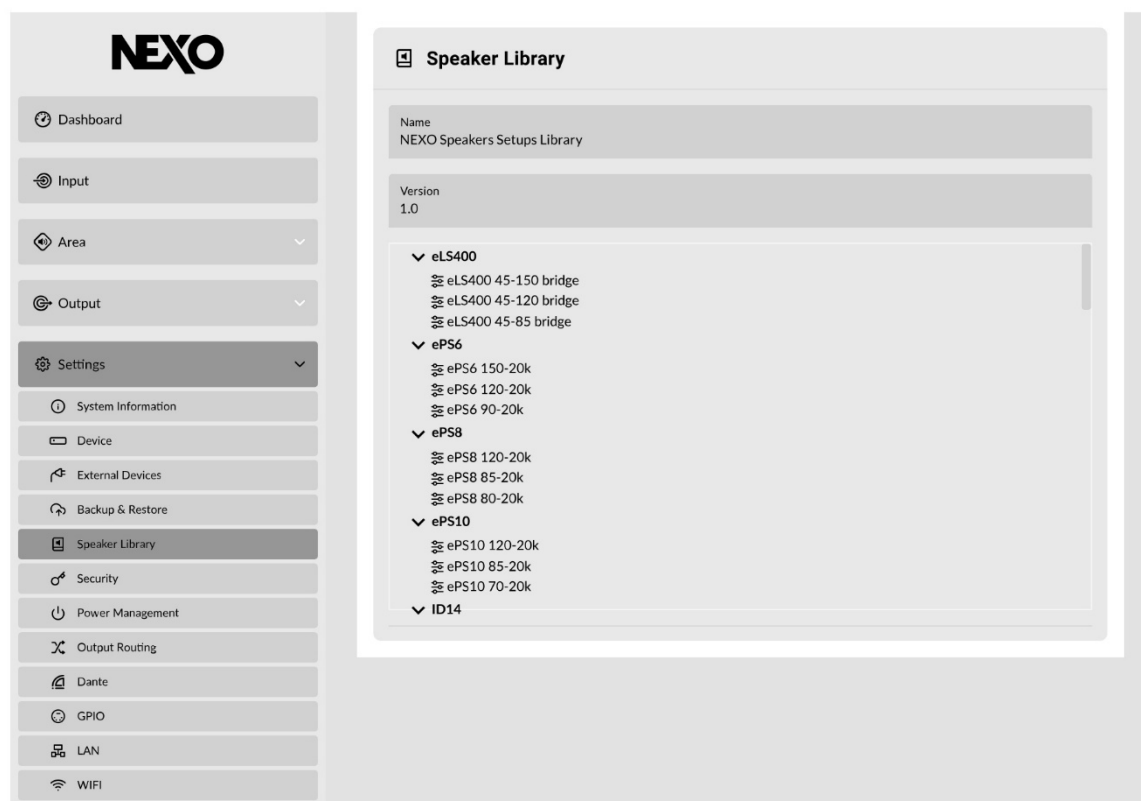
リモートコントロールからアンプのオン/オフ、NANORMファームウェアのアップグレード、ネットワーク設定の調整、外観（画面の明るさ、ボタンのバックライトなど）の調整、PINコードによるアクセス制限など、その他のオプションも利用できます。



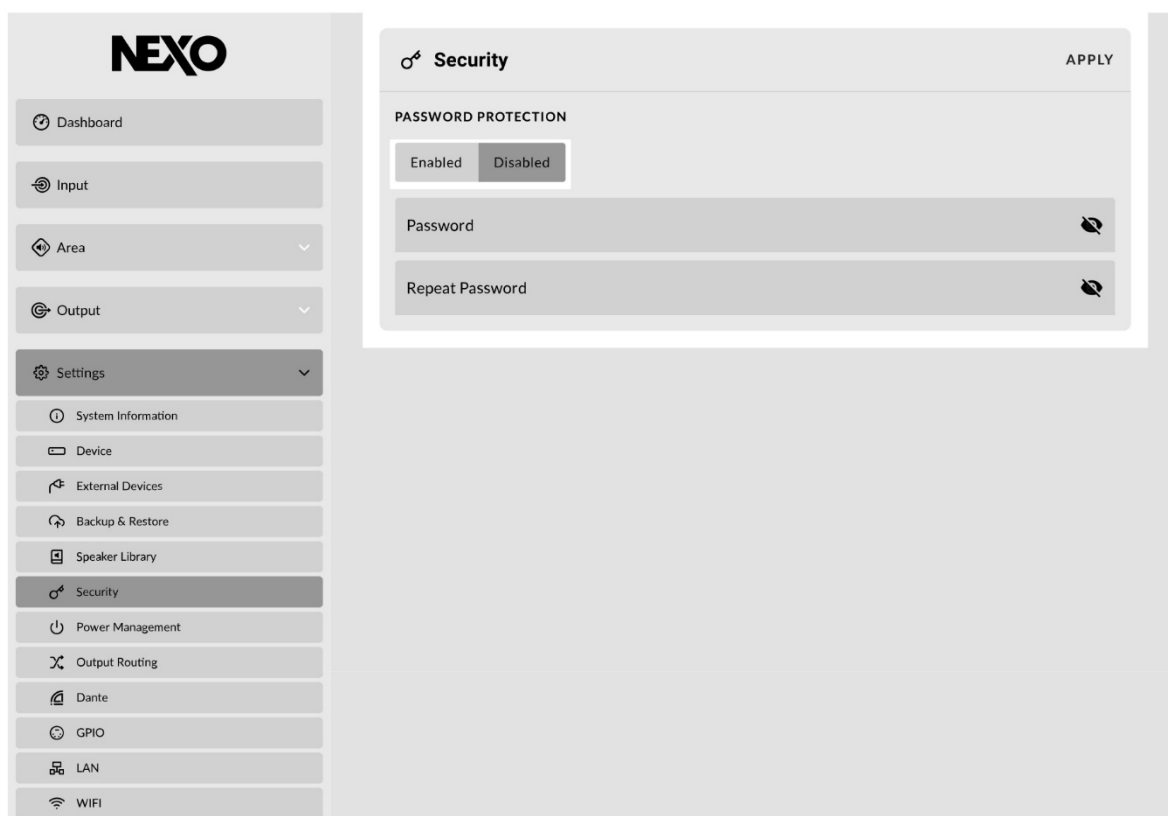
4. **Backup and Restore:** このページでは、該当するボタンをクリックしてnanoNXAMP4の設定をバックアップおよびリストアできます。ユニットの再起動およびリセットもこのページから行なえます。



5. **Speaker Library:** NEXOスピーカーの内蔵プリセットを一覧で表示できます。



6. **Security:** 「Password Protection」を「Enabled」に切り替えてパスワードを2回入力すると、ユニットへのアクセスをパスワードで保護できます。



7. **Power Management:** パワーマネジメントについては、十分に時間をかけて理解したうえで慎重に設定を行なってください。用途に応じて複数の動作モードを選択できます。各モードの詳細な説明が表示されます。ユニットのセットアップ中にリモートコントロールが使用できない状態でモードを切り替えないよう注意してください。スタンバイモードに入ってしまう場合があり、そうするとネットワークからアンプを起動できなくなります。その場合は、ユニットを再起動して、アンプが再びスタンバイモードに入る前にリモートコントロールにアクセスできるようにするか、ユニットをリセットしてください。
- ミュート時間はOFFから10分、スタンバイ時間はOFFから60分の範囲で選択できます。

NEXO

- Dashboard
- Input
- Area
- Output
- Settings
 - System Information
 - Device
 - External Devices
 - Backup & Restore
 - Speaker Library
 - Security
 - Power Management**
 - Output Routing
 - Dante
 - GPIO
 - LAN
 - WIFI

Power Management

AUTO ON

- Audio (Eco)**
The Amplifier will power on if more than 2.5mV is applied to any of the analog inputs. Complies with European ErP standby regulations (<0.5W standby consumption). WARNING: Network will not work during standby!
- Audio**
The Amplifier will power on if more than 2.5mV is applied to any of the analog inputs. Complies with European ErP standby regulations for networked equipment (<2W standby consumption).
- Audio (Digital)**
The DSP is always on. The amplifier will power on if any of the outputs is above -80dBFS. Note: Does not comply to the European ErP standby requirements for networked equipment (<2W)
- Trigger (Eco)**
The Amplifier will power on when a 12V trigger is activated - please see the GPIO page. Complies with European ErP standby regulations (<0.5W standby consumption). WARNING: Network will not work during standby!
- Trigger**
The Amplifier will power on when a 12V trigger is activated - please see the GPIO page. Complies with European ErP standby regulations for networked equipment (<2W standby consumption).
- Network Only**
The amplifier will power on when receiving network API commands. Complies with European ErP standby regulations for networked equipment (<2W standby consumption).

Standby Time (Minutes)

OFF 5 15 30 60

Mute Time (Minutes)

OFF 1 2 5 10

8. **Output Routing:** このページでは、nanoNXAMP4からデバイスのデジタル出力へのオーディオルーティングを設定します（両モデルのSPDIF出力2チャンネル、nanoNXAMP4-DのみDante 4チャンネル）。各デジタル出力のソースは、アナログ入力、SPDIF入力、Dante入力、ミックス出力（入力ソースのミックス、Inputページの説明を参照）、またはエリア出力（Areaページの説明を参照）から選択できます。

1つのソースまたは複数のソースのミックスに何らかの設定を加えたものを複数のnanoNXAMP4ユニットに配信する場合、コスト効率の高いデジタル配信にはSPDIFの入出力が、LANネットワーク越しの長距離配信にはDante出力（nanoNXAMP4-Dのみ）が有効な選択肢となります。

The screenshot displays the NEXO web interface for configuring Output Routing. On the left, a sidebar menu includes options like Dashboard, Input, Area, Output, Settings, System Information, Device, External Devices, Backup & Restore, Speaker Library, Security, Power Management, Output Routing (selected), Dante, GPIO, LAN, and WIFI. The main panel shows the 'Output Routing' configuration for two digital output types: SPDIF and DANTE. Under SPDIF, there are two channels, AL and AR, each with a source selector (currently set to Analog A and Analog B) and a volume slider (set to 0.0 dB). Under DANTE, there are four channels, A, B, C, and D, each with a source selector (currently set to Analog A, Analog B, Analog C, and Analog D) and a volume slider (set to 0.0 dB). The sliders have a scale from -48 to 3 dB.

9. **Dante:** Danteページでは、クロッキングステータス、MACアドレスとIPアドレス、ファームウェアバージョン、AES67モードなど、Danteモジュールの基本情報が表示されます。

The screenshot displays the NEXO Dante configuration interface. On the left is a sidebar menu with the NEXO logo at the top and the following items: Dashboard, Input, Area, Output, Settings (expanded), System Information, Device, External Devices, Backup & Restore, Speaker Library, Security, Power Management, Output Routing, Dante (highlighted), GPIO, LAN, and WIFI. The main content area is titled 'Dante' and shows the following information:

- Device ID: DNT-996375
- MAC Address: 00:1D:C1:99:63:75
- IP Address: 10.12.18.121
- Firmware: fw: 4.2.6.5 sw: 4.2.6.2
- Status: LOCKED
- Sampling Rate: 48000 kHz
- Link Speed: 100 MB
- AES67 mode: (toggle switch)

10. **GPIO:** このページでは、各GPIOピンに関連する機能を設定します。説明はコントロールページに直接記載されています。nanoNXAMP4およびnanoNXAMP4-DのGPIOのハードウェアについては、本マニュアルの「リアパネルの説明」を参照してください。

NEXO

Dashboard

Input

Area

Output

Settings

System Information

Device

External Devices

Backup & Restore

Speaker Library

Security

Power Management

Output Routing

Dante

GPIO

LAN

WIFI

GPIO

PIN 1
Soft Ground
Use for 12V trigger and standby/mute input reference

PIN 2

- Off**
Pin has no functionality (Default)
- Standby (NO)**
Amplifier will enter standby when Pin 2 is connected to GND.
- Standby (NC)**
Amplifier will enter standby when Pin 2 is unconnected (floating).
- Mute (NO)**
All amplifier outputs are muted when Pin 2 is connected to GND.
- Mute (NC)**
All amplifier outputs are muted when Pin 2 is unconnected (floating).

PIN 3
Ground
Use as reference for Volume Control and Trigger Out.

PIN 4

- Volume Control**
When selected the pin is used for external volume control (Default).
- Off**
Pin has no functionality.
GPIO4 Bound to Volume Control

PIN 5

- Volume Control**
When selected the pin is used for external volume control (Default).
- Off**
Pin has no functionality.

PIN 6

- 12V Trigger In**
Amplifier will operate when 12V signal is applied to Pin 6 - will enter standby when no signal applied. Requires Trigger-Mode selected in Power-Mode Section (Default).
- Volume Control**
When selected the pin is used for external volume control.
- Off**
Pin has no functionality.

PIN 7

- 12V Trigger Out**
12V Output Trigger (Default).
- Volume Control**
When selected the pin is used for external volume control.
- Off**
Pin has no functionality.

PIN 8
Power 3.3V
3.3V Power for Volume Controls

11. **LAN:** LANインターフェースのIP設定を行ないます。DHCPおよびスタティックアドレスを使用できます。IPアドレスに加え、より複雑なネットワーク環境への統合のために、ネットワークマスク、ゲートウェイ、および2つのDNSサーバーアドレスを入力できます。

The screenshot displays the NEXO web interface for LAN configuration. On the left is a sidebar menu with the NEXO logo at the top and various settings categories: Dashboard, Input, Area, Output, Settings (expanded), System Information, Device, External Devices, Backup & Restore, Speaker Library, Security, Power Management, Output Routing, Dante, GPIO, LAN (selected), and WIFI. The main content area is titled 'LAN' and includes an 'APPLY' button. Under 'NETWORK MODE', the 'Static' option is selected. The configuration fields are as follows:

Field	Value
Ip Address	172.0.0.10
Network Mask	255.255.255.0
Gateway	172.0.0.1
Dns1	8.8.8.8
Dns2	8.8.4.4

12. **Wi-Fi:** このページでは、上部のスイッチでワイヤレスネットワークインターフェースのオン/オフを切り替えられます。また、LANが接続されたときに自動的にオフになるよう設定したり、起動後の設定やシステム確認のみに使用し、通常使用時のインストール環境に影響を与えないよう一定時間後に無効にしたりすることもできます。

Wi-Fiモードは、クライアントからの直接接続用の「Access Point」（デフォルトモード）、または既存のWi-Fiインフラに参加するクライアントとして設定できます（その場合はSSIDとパスワードが必要です）。

NEXO

Dashboard

Input

Area

Output

Settings

System Information

Device

External Devices

Backup & Restore

Speaker Library

Security

Power Management

Output Routing

Dante

GPIO

LAN

WiFi

WIFI APPLY

ENABLE WIFI

When WiFi is disabled the only way to connect to the amplifier is using the LAN port. The setting can be reset by pressing the Factory Reset button during startup or connecting via LAN and enabling WiFi again.

WHEN LAN CONNECTED

Disable WIFI

Do Nothing

DISABLE WIFI AFTER

5 min 10 min 30 min Always On

If set to any other value than "Always On" - WiFi will be turned off after the selected duration. Amplifier will need power cycling to turn WiFi on again.

WIFI MODE

Access Point Client

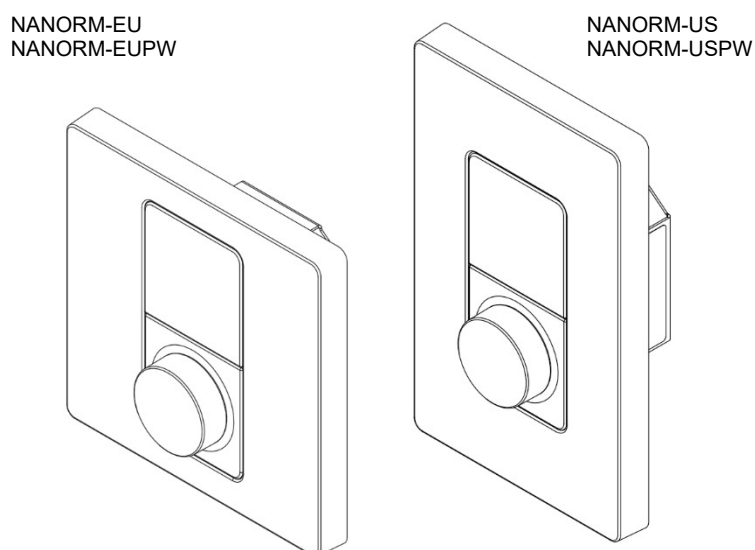
Access Point Name (SSID)
Nexo NANONXAMP4 2201-55435

Password
Password

NANORMは壁面取り付け型コントローラーで、nanoNXAMP4またはnanoNXAMP4-Dの特定のエリアのソース選択とボリューム調整を行なえます。以下の4種類があります。

- NANORM-EU (*) 壁面取り付け型コントローラー、EUフォームファクター、ブラック
- NANORM-EUPW (*) 壁面取り付け型コントローラー、EUフォームファクター、ホワイト
- NANORM-US 壁面取り付け型コントローラー、USフォームファクター、ブラック
- NANORM-USPW 壁面取り付け型コントローラー、USフォームファクター、ホワイト

(*日本での取扱はございません)



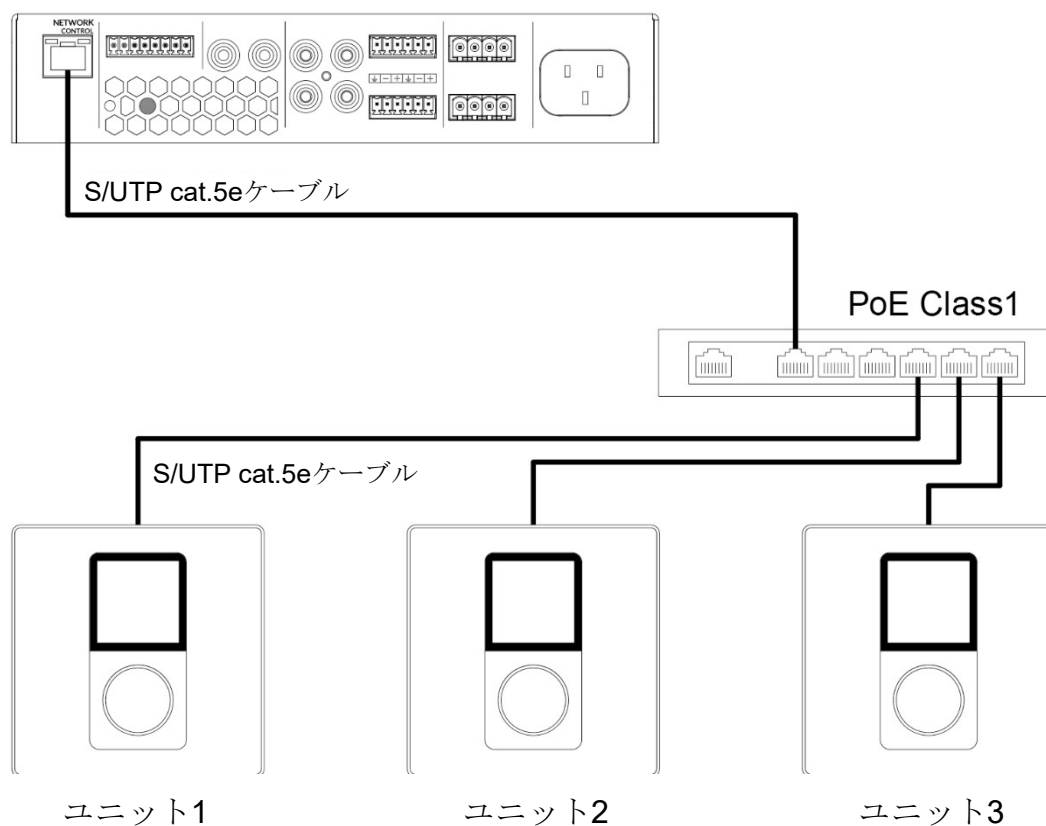
各NANORMデバイスは1つのエリアのみ制御できますが、そのエリアは複数またはすべてのnanoNXAMP4出力にルーティングしたり、SPDIF出力またはDante出力を通じて他のnanoNXAMP4デバイスにルーティングしたりすることもできます (Settingsページの説明 > Output Routingを参照)。一方、4つのエリアをリモートコントロールするには、4つのNANORMデバイスが必要で、それぞれが個別のエリアに割り当てられます。

複数のNANORMデバイスを同じエリアに割り当てることができますが、1台のnanoNXAMP4またはnanoNXAMP4-DアンプにNANORMデバイスを8台以上接続することは推奨しません。

NANORMデバイスへの電力供給には、標準的なPoEスイッチ (またはPoEインジェクター) とCat5ケーブル (またはそれ以上) を使用します。

NANORM と nanoNXAMP4 の接続

以下の図は、標準的なPoEネットワークスイッチとCat5ケーブルを使用して、複数のNANORMデバイスをnanoNXAMP4アンプに接続する方法を示しています。

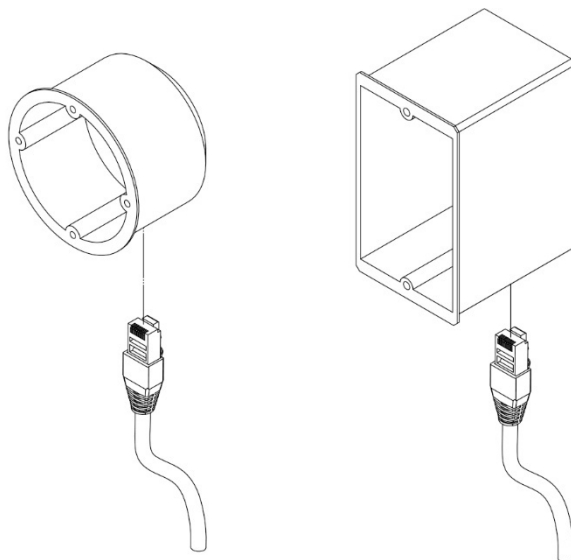


NANORM デバイスの取り付け

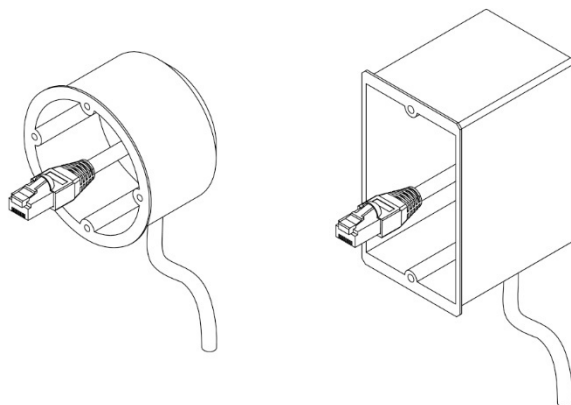
本製品には、NANORMの取り付けに必要な埋め込み型電気ボックスおよび取り付けネジは付属していません。

壁材や設置状況に適した、市販の埋め込み型電気ボックスおよび取り付けネジを使用してください。

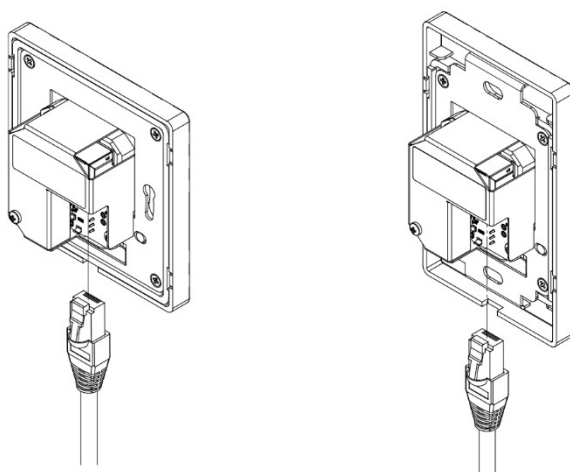
1. Ethernetケーブルを電気ボックスに通します。



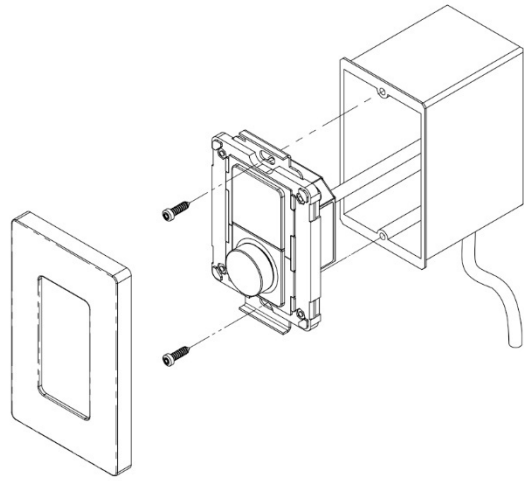
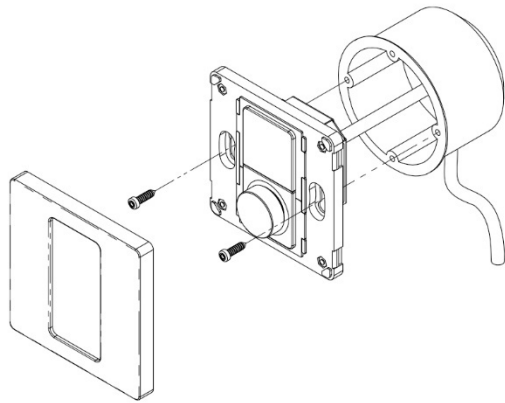
2. 電気ボックスを壁に取り付けます。



3. EthernetケーブルをNANORMユニットに接続します。



4. NANORMユニットを電気ボックスにネジで固定します。フロントパネルを取り付け、カチッとほまるまで押し込みます。



NANORM デバイスの操作

NANORMは、簡単かつ直感的な操作を実現するよう設計されています。取り付けと設定が完了すると、ユーザーは操作感に優れたロータリーエンコーダーダイヤルですべての機能を操作でき、関連するすべての情報は高解像度カラーディスプレイに表示されます。

デバイスの3つの主要機能は、以下の通りに操作します。

1. **ロータリーエンコーダーを回す**ことで、ボリュームの調整とメニューオプションのナビゲーションを行なえます。
ロータリーエンコーダーを左（反時計回り）に回すとボリュームが下がり、右（時計回り）に回すとボリュームが上がります。
2. **ロータリーエンコーダーをタップ**することで、入力ソースを変更できます。
ロータリーエンコーダーダイヤルをタップし、ロータリーエンコーダーを回して使用可能な入力ソースを確認し、再度タップして目的のソースを確定することで、入力ソースを切り替えられます。
3. **ロータリーエンコーダーを長押し**することで、設定メニューにアクセスできます。
設定メニューへのアクセスは、オプションのPINコード保護で制限することもできます。
PINコード保護の有効化および設定は、nanoNXAMP4またはnanoNXAMP4-Dのウェブインターフェースの設定から行ないます。

NANORM デバイスの設定

注意: 複数のWall-S1デバイスを1台のアンプに接続する場合は、次のデバイスを接続して設定する前に、現在のデバイスのセットアップをすべて完了することをおすすめします。

1. 手順1: デバイスを起動する

Wall-S1デバイスに接続されたEthernetケーブルから電力が供給されると、製品が起動し、数秒間NEXOロゴが表示されます。NEXOロゴが消えると、セットアップ画面に切り替わります。セットアップ画面には以下が表示されます。

- デバイスのペアリングコード
- IPアドレス変更オプション [「Edit IP Settings」]



2. 手順2: デバイスのIP設定を編集する (必要な場合)

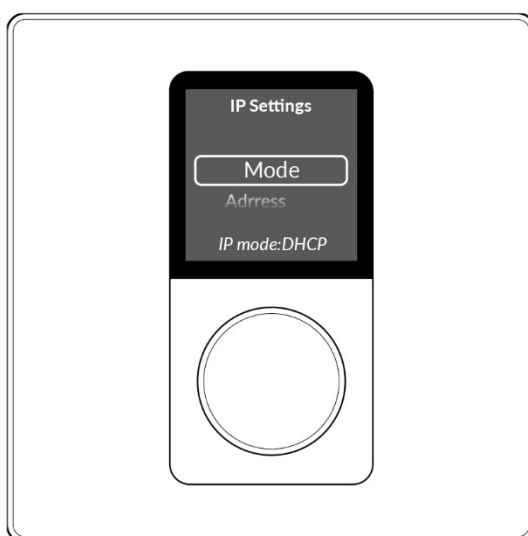
ネットワークルーター経由でnanoNXAMP4またはnanoNXAMP4-DアンプにNANORMデバイスを接続すると、IPアドレスが自動的に割り当てられます (動的DHCP)。これはデフォルト設定であり、この場合IP設定を編集する必要はありません。

ただし、ネットワークスイッチ経由でnanoNXAMP4またはnanoNXAMP4-DにNANORMデバイスを接続する場合は、IP設定をスタティックIPに変更する必要があります。

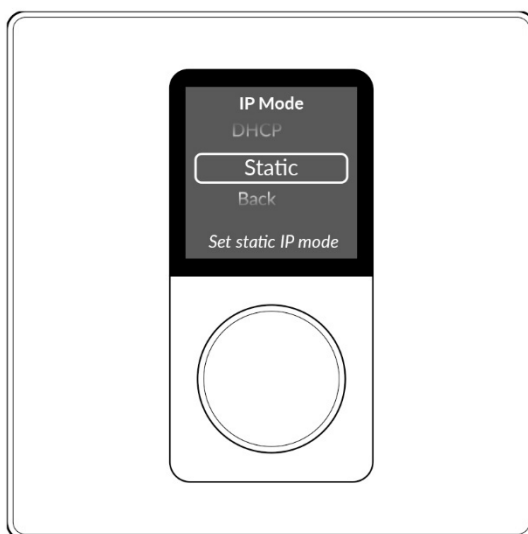
初回セットアップ時は、設定はデバイス本体からのみ行なえます。以下の手順で設定してください。

- 1) ロータリーエンコーダーをタップして「Edit IP Settings」の操作を確定します。
- 2) ディスプレイにオプションが表示されます。

ロータリーエンコーダーを左 (反時計回り) に1クリック回し、タップして「MODE」オプションの選択を確定します。



- 3) ロータリーエンコーダーをタップして「Static」オプションの選択を確定します。



- 自動的に前のメニューに戻ります。

重要 - 同じアンプに2台目以降のデバイスを接続する場合は、手順12に進んでください。

- ロータリーエンコーダーを右（時計回り）に4クリック回して「Back」オプションに移動します。
- ロータリーエンコーダーをタップして「Back」オプションの選択を確定します。
- 「Apply IP Changes?」という確認メッセージが表示されます。
- ロータリーエンコーダーをタップして「Yes」オプションの選択を確定します。



- プロセスの開始時と同じ画面になり、ペアリングコードが表示されます（下記画像を参照）。



- これで、アンプに接続する最初のデバイスの設定に必要なIP設定の編集手順が完了しました。

重要 - 同じアンプに2台以上のデバイスを接続する場合は、各デバイスに固有のIPアドレスを割り当てるため、手順5の後に以下に説明する追加の手順を行なう必要があります。

- ロータリーエンコーダーを右（時計回り）に1クリック回し、タップして「Address」オプションの選択を確定します。



- 12) ロータリーエンコーダーを数回タップして、IPアドレスの最後の数字が選択された状態にします。



- 13) ロータリーエンコーダーを右（時計回り）に回してこのデバイスのIPアドレスの最後の数字を変更し、同じアンプに接続されている他のデバイスと重複しないようにします。（例: 2台目のデバイスは最後の数字を「2」に、3台目のデバイスは「3」に変更するといった形で続けます）
- 14) ロータリーエンコーダーをタップして変更を確定し、画面の指示に従って終了します。
- 15) ロータリーエンコーダーを右（時計回り）に3クリック回して「Back」オプションに移動します。
- 16) ロータリーエンコーダーを押して「Back」オプションの選択を確定します。
- 17) 「Apply IP Changes?」という確認メッセージが表示されます。
- 18) ロータリーエンコーダーを左（反時計回り）に1クリック回し、タップして「Yes」オプションの選択を確定します。



19) 開始時と同じ画面になり、ペアリングコードが表示されます。



20) これで、アンプに接続する最初のデバイスの設定に必要なIP設定の編集手順が完了しました。

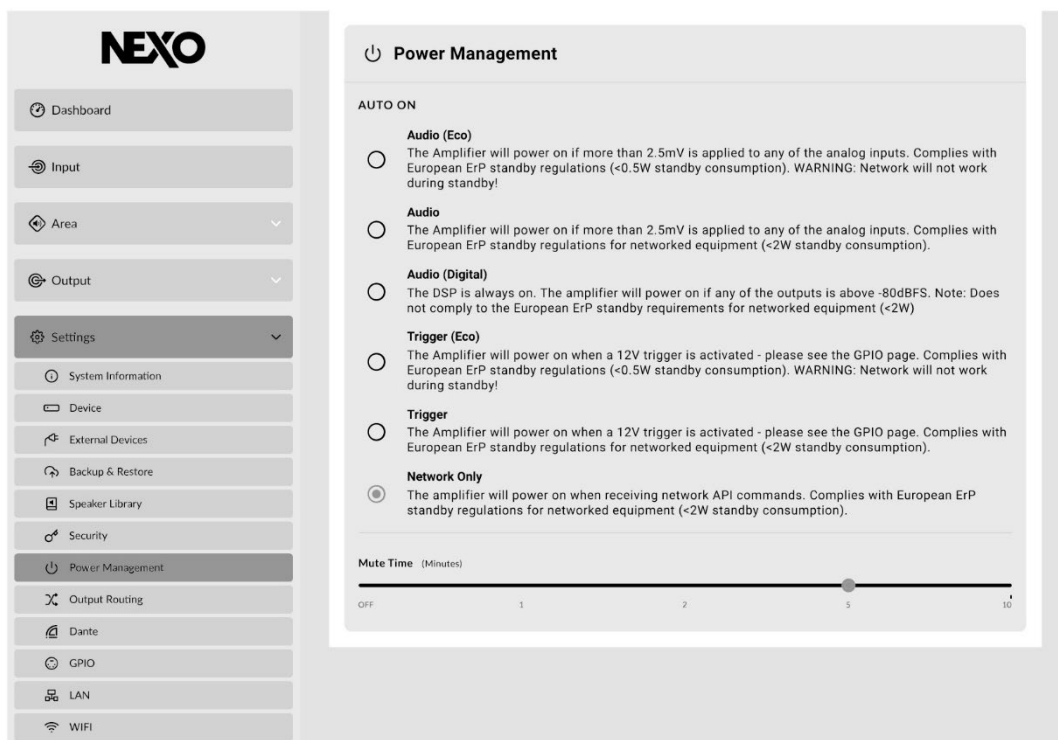
3. 手順3: コントロールウェブページを使用してnanoNXAMP4に接続する

まだ接続していない場合は、スマートフォン、タブレット、またはコンピューターを使用してコントロールウェブページからnanoNXAMP4またはnanoNXAMP4-Dアンプに接続します。その方法については、本マニュアルの「リモートコントロールソフトウェアの説明」を参照してください。

重要 - nanoNXAMP4に接続後、パワーマネジメントの設定を「Network Only」に変更することを強くおすすめします。

この推奨事項には主に2つの理由があります。

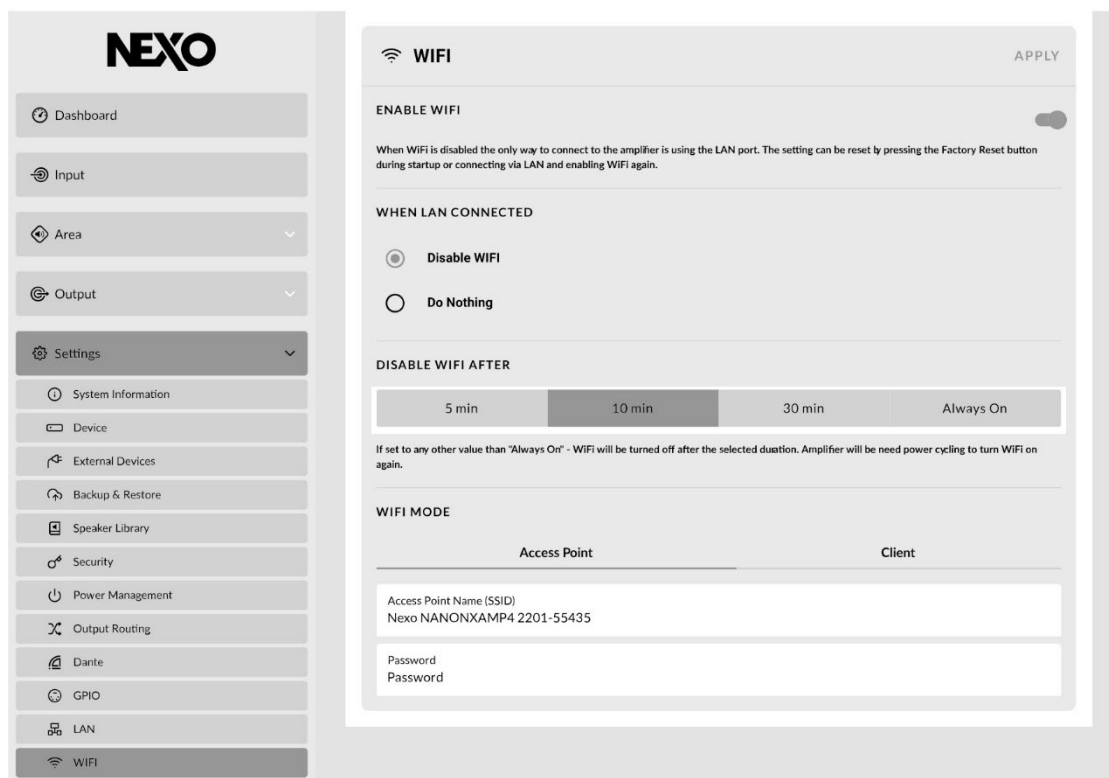
- 「Audio」というデフォルト設定では、ウォールコントローラーから直接アンプの電源をオフにする機能（オプション）が正常に動作しない場合があります。
- パワーマネジメントをエコモード（「Audio (Eco)」または「Trigger (Eco)」）に設定することも推奨しません。これらの設定では、アンプとネットワークデバイスとの接続が失われやすくなります。



重要 - 有線 (Ethernet) ネットワーク接続でnanoNXAMP4に接続してコントロールウェブページにアクセスする場合は、以下の通りにWi-Fi設定を変更することを強くおすすめします。

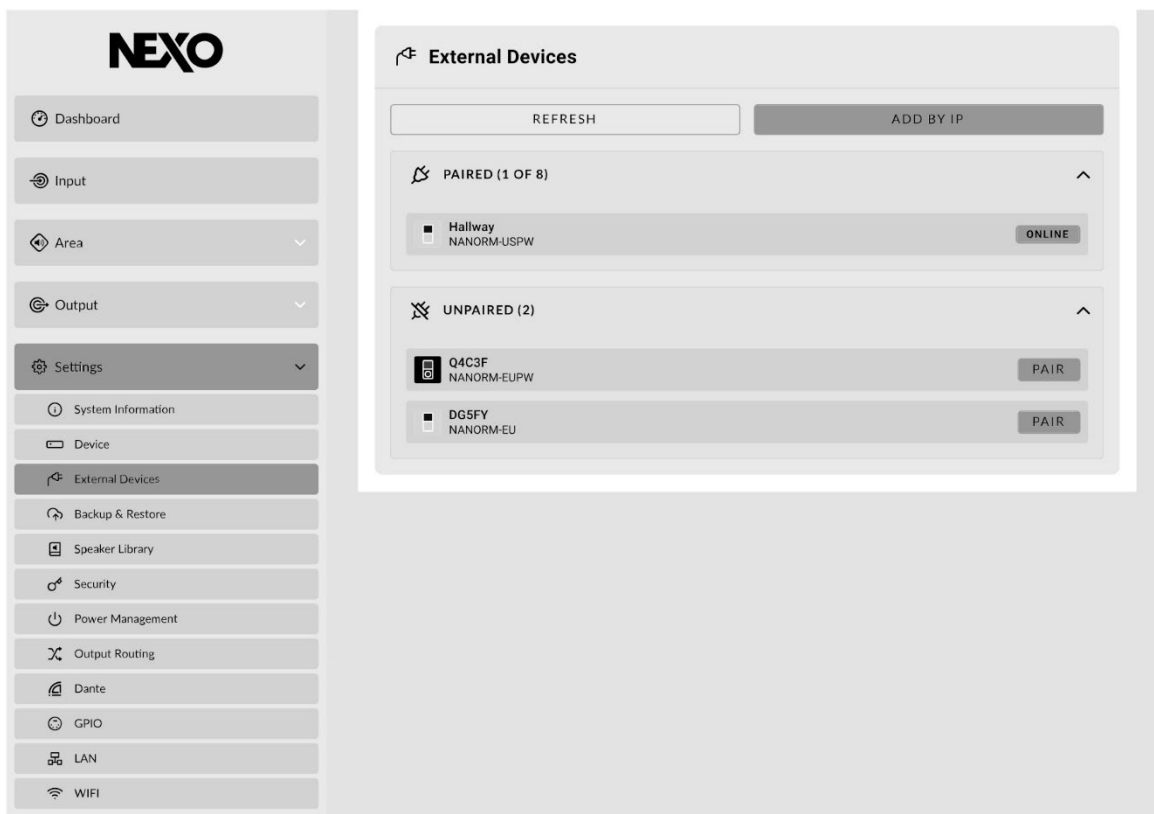
- 「Settings Menu」で「WIFI」設定に移動し、「WHEN LAN CONNECTED」の「Disable WIFI」オプションを選択してWi-Fiを無効にします。次に、右上の「APPLY」をクリックします。

このWi-Fi設定の変更により、IPアドレスの競合を防ぐだけでなく、アンプおよびネットワークデバイスへのアクセスのセキュリティも向上します。



4. 手順4: デバイスをnanoNXAMP4またはnanoNXAMP4-Dとペアリングする

NANORMデバイスをnanoNXAMP4またはnanoNXAMP4-Dアンプとペアリングするには、コントロールウェブページで「Settings」>「External Devices」に移動します。



設定中のNANORMデバイスは「Unpaired」デバイスとして表示されます。該当するNANORMデバイスの横にある「PAIR」ボタンをクリックしてデバイスをペアリングします。NANORMデバイスとnanoNXAMP4またはnanoNXAMP4-Dアンプのペアリングには数秒かかります。

ペアリングが完了すると、コントロールウェブページの「Paired」デバイスに表示され、緑色の「ONLINE」アイコンが横に表示されます。

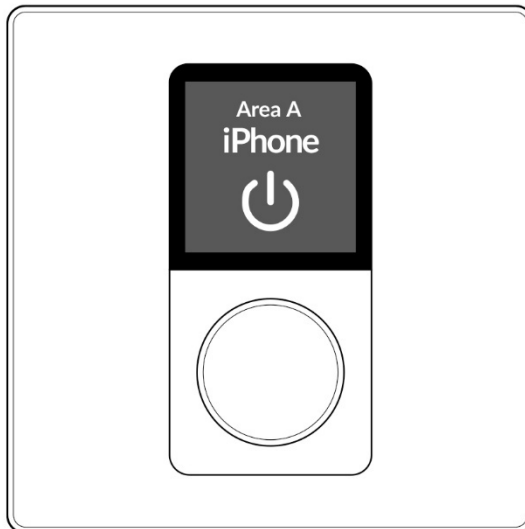
5. 手順5: デバイスで制御するオーディオエリアを選択する

nanoNXAMP4のコントロールウェブページで、ペアリング済みデバイスのメニューに表示されているデバイスをクリックし、「General」タブに移動します。

デバイスで制御するエリアをドロップダウンメニューから選択して（例: エリアA）、デバイスを特定のオーディオエリアに割り当てます。

ウォールコントローラーに関連付けられた新しいエリア名がNANORMデバイスの画面上部に即座に表示されることを確認してください。

ウォールコントローラーに関連付けられた新しいエリア名がNANORMデバイスの画面上部に即座に表示されることを確認してください。



6. 手順6: デバイスに名前を付ける

「General」タブで、デバイスに名前を入力することをおすすめします。設置場所や用途を表す名前（例: 「Basement Bar」）を使用することをおすすめします。

「APPLY」をクリックして名前の変更を適用します。

NANORMデバイスの設定が完了し、関連付けられたエリアのボリュームと入力ソースをリモートコントロールできるようになりました。

nanoNXAMP4またはnanoNXAMP4-Dのコントロールウェブページの「Settings」>「External Devices」で「Find Me」オプションを選択することで、個々のNANORMデバイスを識別できます。接続されたデバイスのディスプレイとロータリーエンコーダーのイルミネーションが点滅します。

NANORM デバイスの設定

NANORMデバイスに関連付けられる機能の一覧を確認するには、上記の説明に従い、コントロールウェブページの「Settings」>「External Devices」を表示してください。

The screenshot displays the NEXO control interface. On the left is a sidebar with the NEXO logo and a list of settings: Dashboard, Input, Area, Output, Settings, System Information, Device, External Devices, Backup & Restore, Speaker Library, Security, Power Management, Output Routing, Dante, GPIO, LAN, and WIFI. The 'External Devices' menu item is highlighted. The main content area is titled 'External Devices' and features a 'REFRESH' button and an 'ADD BY IP' button. Below these are two sections: 'PAIRED (1 OF 8)' and 'UNPAIRED (2)'. The 'PAIRED' section shows a device named 'Hallway NANORM-USPW' with an 'ONLINE' status. The 'UNPAIRED' section shows two devices: 'Q4C3F NANORM-EUPW' and 'DG5FY NANORM-EU', each with a 'PAIR' button.

IP ベースのリモートコントロールプロトコル

nanoNXAMP4およびnanoNXAMP4-Dは、ユニット背面のリモートコントロールポートを使用して、Ethernetネットワーク経由でリモートコントロールできます。

リモートコントロールはIPベースになります。正常な動作を確保するために、ネットワーク上のすべてのデバイスでIPアドレスを正しく設定してください。nanoNXAMP4およびnanoNXAMP4-Dは、DHCPモードとスタティックIPアドレスモードの両方に対応しています。詳細については、「Settings」ページの説明/LANを参照してください。

注意: nanoNXAMP4-Dには2つのRJ45ポートがあり、1つはリモートコントロール用、もう1つはDante接続用です。リモートコントロールソフトウェアにユニットを接続する際は、必ずリモートコントロールポートを使用してください。

NeMo (NEXO Remote) : nanoNXAMP4 コントロールソフトウェア

NEXO NeMoは、NEXOの一部の製品（互換性のある拡張ボードを搭載したNXAMP、NXAMPmk2、DanteをサポートするDTDデジタルTDコントローラー、nanoNXAMP4およびnanoNXAMP4-D）向けのリモートコントロールアプリです。これにより、MacまたはPCから有線またはWi-Fiネットワークを介して、1つまたは複数のNEXO機器を制御できます。



洗練された直感的なユーザーインターフェイスにより、アンプの管理と配置、パラメーター（レベルなど）のモニタリング、および新しい値の設定（プリセット、ボリューム、ディレイ、EQなど）が可能になります。NEXO NeMoには、ログ保存、アラート、メール送信のための強力なエンジンも搭載されています。主な機能は以下のとおりです。

- オフラインセッションの作成と編集、およびオンライン時の実際のNEXO機器とのマッチング
- オンラインデバイスとオフラインデバイスのインテリジェントマッチング、およびオンラインデバイスの検出機能
- 接続されたNEXO機器の2次元空間における視覚化と配置
- カスタム背景画像の追加と、明るさと明度の編集
- マルチデバイス制御のためのデバイスまたはチャンネルのグループ化、および2次元空間上のグループとゾーンの視覚化
- ネットワーク全体に対する迅速なミュート、ソロ、およびデバイス、グループまたはゾーンのステータスのモニタリング（ピークや保護など）
- 標準ライブラリーからの設定の選択、およびカスタム設定の構築
- 複数のNEXO機器のパラメーター（ミュート-ソロ、入出力レベル、各出力チャンネルのボリューム、ディレイ、ゲイン、Array EQ、ヘッドルームなど）の同時モニタリングおよび制御
- 入力チャンネルの出力チャンネルへのパッチ
- EQとコンプレッサーの表示と編集（EQはEQライブラリーに保存できます）
- シーンの保存と呼び出し
- すべての制御ステップの取り消しおよびやり直し
- 1つのNEXO機器から複数機器へのパラメーターおよびシーンのコピー/ペースト
- セッション（.nemoドキュメント）利用によるユーザー設定の保存と共有
- さまざまなレベルのアラート管理の設定
- NeMoオンライン時に記録可能なNEXO機器のすべての値（温度、電圧、電流など）のログの視覚化と書き出し
- 全体を設定可能なライブモード
- アプリテスト用のデモモード

ハードウェアメンテナンス

⚠警告

nanoNXAMP4の清掃を行なう場合は、その前に必ず主電源から抜いてください。

nanoNXAMP4の吸気口の埃のたまり具合を定期的に点検してください。アンプの冷却トンネルに埃が侵入している場合は、圧縮空気を使用してアンプから取り除いてください。

シャーシおよびフロントパネルは乾いた布で清掃してください。

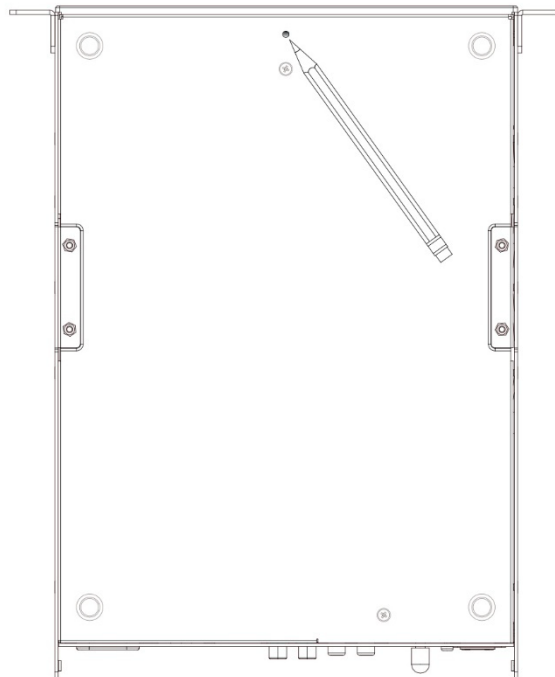
デフォルト設定へのリセット

nanoNXAMP4およびnanoNXAMP4-Dは、コントロールウェブページ（Settingsページの説明 > Backup and Restoreを参照）またはハードウェアリセットのピンホールボタンからデフォルト設定に戻すことができます。リセットピンホールボタンはアンプの底面パネルにあります。

ピンホールボタンを使用してアンプをリセットするには、以下の手順に従ってください。

- アンプの主電源ケーブルを抜きます。
- 適切な道具を使用してリセットピンホールボタンを押し続けながら、主電源ケーブルを接続します。
- アンプが再起動するまでのおよそ5秒間、リセットピンホールボタンを押し続けます。

アンプはすべての設定がデフォルト状態で再起動します。設定済みの内容はすべて削除されます。



nanoNXAMP4/nanoNXAMP4-D 技術仕様

nanoNXAMP4 出力仕様	
出力チャンネル数	4チャンネル、2チャンネルごとにブリッジ接続可能
最大出力 (4チャンネルモード / 各チャンネル8Ω負荷時)	200W x4
最大出力 (4チャンネルモード / 各チャンネル4Ω負荷時)	250W x4
最大出力 (4チャンネルモード / 各チャンネル2Ω負荷時)	250W x4
最大出力 (2チャンネルモード / 各ブリッジチャンネル8Ω負荷時)	200W x2
最大出力 (2チャンネルモード / 各ブリッジチャンネル4Ω負荷時)	350W x2
消費電力 (アイドル時)	20W
消費電力 (スタンバイ時)	<2W
消費電力 (ネットワーク未接続スタンバイ時)	<0.5W
入力～出力 (パワー出力) 仕様	
周波数特性(+0 / -0.25dB)	20Hz～20kHz
入力インピーダンス/入力感度	20 KΩ / +13dBu
ダイナミックレンジ / 歪み+ノイズ	>106dB (A特性) / <0.05% (FLATセットアップ)
レイテンシー	1ms (FLAT セットアップ)
オーディオAD / DAコンバーター	24ビット@48kHz
プロセッシング	64ビットDSP処理
背面端子仕様	
アナログオーディオ入力端子	バランスアナログ3.5mmピッチユーロブロック入力 x4またはアンバランスRCA入力 x4
出力端子	5mmピッチユーロブロック出力 x4
デジタルオーディオ入力 / 出力端子	RCA端子によるSPDIF 2チャンネル入出力 x1 + Dante™ 4チャンネル入力 x1 (nanoNXAMP4-Dのみ)
汎用入出力 (GPIO) ポート	3.5mmピッチユーロブロック x1 (汎用入力 x4, 汎用出力 x1)
ネットワーク入力	RJ45 100Mbイーサネットポート x1 (リモートコントロール用)
メイン電源端子	IEC C14 ソケット x1
フロントパネル / リモート操作	
フロントパネルLED	LED x5 (WiFi / ネットワーク / 出力 / 入力 / ステータス)
リモートコントロール	100Mbイーサネットポートまたは内蔵WiFi (アクセスポイント / クライアント) 経由
電源要件	
定格電圧	アクティブPFC搭載ユニバーサル電源、100V～240V (50 / 60Hz)
消費電力 (1/8出力、2Ω)	250W
寸法 / 認証情報	
寸法・質量	19インチ1Uハーフラックサイズ 寸法 : 220 x 44.5 x 296 mm 重量 : 2.8kg
電気安全規格認証	IEC62368-1 : 2018、J62368-1 (2023) +J3000 (H25)
EMC認証	Appendix12 DENAN、J55032 (H29) 、JIS C 61000-3-2 : 2019
環境認証	ROHSおよびREACH指令準拠

NANORM 技術仕様

モデル	NANORM-EU	NANORM-EUPW	NANORM-US	NANORM-USPW
互換性				
アンプ互換性	nanoNXAMP4 および nanoNXAMP4-D			
機械仕様				
カラー	黒 (RAL9005)	白 (RAL9003)	黒 (RAL9005)	白 (RAL9003)
外形寸法	87 × 87 mm		115 × 71 mm	
奥行き (背面側: 取付プレートからシールドボックス)	24 mm		23 mm	
奥行き (前面: ノブまたはロータリーエンコーダー先端からシールドボックス外側ま)	43 mm		43 mm	
取付穴間距離 (中心~中)	60 mm		84 mm	
重量	120 g		120 g	
動作温度	0~40℃			
ディスプレイ仕様				
ディスプレイサイズ	28 × 28 mm			
表示領域	768 mm ²			
解像度	240 × 240			
表示タイプ	RGB、透過型 / ノーマリーブラック			
スクリーン材質	高光沢ポリッシュ仕上げ透明アクリル			
材料仕様				
外装・機構部品	プラスチック (ABC-PC)			
ベースおよびシールド材	亜鉛メッキスチール			
保護等級	IP30			
電気仕様				
消費電力	PoE クラス1 / 最大 3.84W			
電源供給	RJ45イーサネットポート経由 (CAT5eケーブル使用、標準PoEスイッチまたはPoEインジェクター)			
スタンバイモード	6種類: 30秒、2分、5分、15分、30分、60分			
接続	RJ45 (CAT5e またはそれ以上の STP ケーブル)			
最大ケーブル長	100 m (328フィート、CAT5e使用)			

熱放散と電流

これらの測定では、テスト信号は帯域幅が22 Hz～22 kHzに制限されたピンクノイズであり、すべてのチャンネルが駆動されます。

1 BTU = 1055.06 J = 0.252 kcal.

(W) x 860 = cal/h

nanoNXAMP4 (ピンクノイズ、100 V/50 Hz 主電源)

	モード	出力/チャンネル		ライン電流 (A)	消費電力 (W)	熱放散 (W)	発熱量	
		電力 (W)	電圧 (V)				Btu/h	kcal/h
スタンバイ	Audio (Eco)	0	0	0.1	0.4	0.4	1	0
	Audio	0	0	0.1	1.3	1.3	4	1
	Audio (Digital)	0	0	0.3	10	10	34	9
	Trigger (Eco)	0	0	0.1	0.4	0.4	1	0
	Trigger	0	0	0.1	1.4	1.4	5	1
	Network Only	0	0			0	0	0
アイドル		0	0	0.2	15	15	51	13
1/8出力	8ohms/ch	25	14	1.5	140	40	137	34
	4ohms/ch	31	11	2.0	178	54	184	46
	2ohms/ch	31	8	2.3	207	83	283	71
1/4出力	8ohms/ch	51	20	3.0	266	62	212	53
	4ohms/ch	63	16	3.9	342	90	307	77
	2ohms/ch	63	11	4.4	386	134	457	115

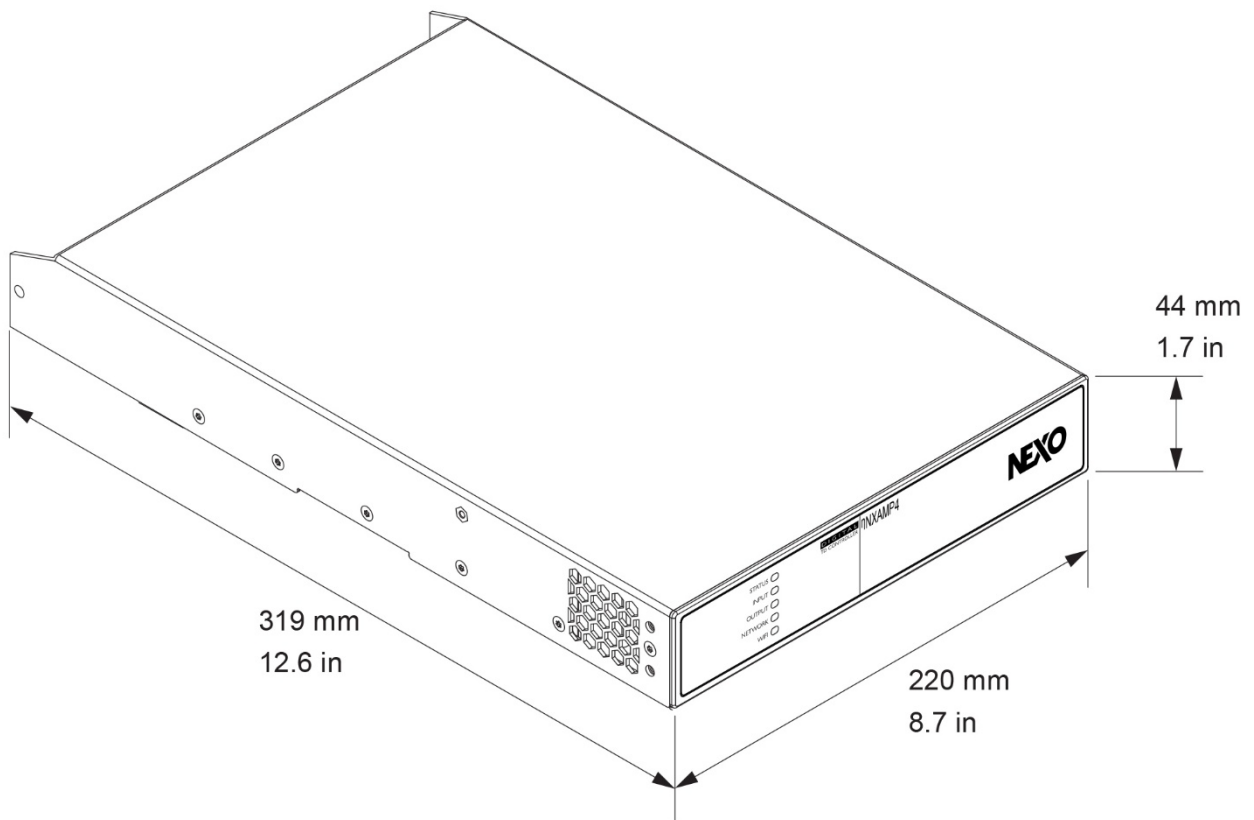
nanoNXAMP4 (ピンクノイズ、120 V/60 Hz 主電源)

	モード	出力/チャンネル		ライン電流 (A)	消費電力 (W)	熱放散 (W)	発熱量	
		電力 (W)	電圧 (V)				Btu/h	kcal/h
スタンバイ	Audio (Eco)	0	0	0.1	0.4	0.4	1	0
	Audio	0	0	0.1	1.3	1.3	4	1
	Audio (Digital)	0	0	0.3	10	10	34	9
	Trigger (Eco)	0	0	0.1	0.4	0.4	1	0
	Trigger	0	0	0.1	1.4	1.4	5	1
	Network Only	0	0			0	0	0
アイドル		0	0	0.2	15	15	51	13
1/8出力	8ohms/ch	25	14	1.3	139	39	133	34
	4ohms/ch	31	11	1.7	177	53	181	46
	2ohms/ch	31	8	2.0	204	80	273	69
1/4出力	8ohms/ch	51	20	2.5	260	56	191	48
	4ohms/ch	63	16	3.3	335	83	283	71
	2ohms/ch	63	11	3.7	376	124	423	107

nanoNXAMP4 (ピンクノイズ、230 V/50 Hz 主電源)

	モード	出力/チャンネル		ライン 電流 (A)	消費電力 (W)	熱放散 (W)	発熱量	
		電力 (W)	電圧 (V)				Btu/h	kcal/h
スタンバイ	Audio (Eco)	0	0	0.1	0.4	0.4	1	0
	Audio	0	0	0.1	1.3	1.3	4	1
	Audio (Digital)	0	0	0.3	10	10	34	9
	Trigger (Eco)	0	0	0.1	0.4	0.4	1	0
	Trigger	0	0	0.1	1.4	1.4	5	1
	Network Only	0	0			0	0	0
アイドル		0	0	0.2	16	16	55	14
1/8出力	8ohms/ch	25	14	0.7	138	38	130	33
	4ohms/ch	31	11	0.9	174	50	171	43
	2ohms/ch	31	8	1.0	200	76	259	65
1/4出力	8ohms/ch	51	20	1.3	253	49	167	42
	4ohms/ch	63	16	1.7	319	67	229	58
	2ohms/ch	63	11	1.8	356	104	355	89

図面と寸法




アフターサービス

お問い合わせ窓口

お問い合わせや修理のご依頼は、お買い上げの販売店、または次のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

●機能や取り扱いに関するお問い合わせ

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター

フリーダイヤル  **0120-016-808**

携帯電話、IP 電話からは **050-3852-4471**

受付時間


月曜日～金曜日 11:00～17:00

(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

オンラインサポート <http://jp.yamaha.com/support/>

●修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

フリーダイヤル  **0120-149-808**

携帯電話、IP 電話からは **050-3852-4106**

FAX 03-5762-2125 東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海)
06-6649-9340 西日本(北陸/近畿/四国/中国/九州/沖縄)

修理品お持込み窓口

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1

JMT京浜E棟A-5F

FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中1丁目13-17

ナンバ辻本ビル7F

FAX 06-6649-9340

受付時間

月曜日～金曜日 10:00～12:00、13:00～17:00

(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

●販売元

(株)ヤマハミュージックジャパン 音響事業戦略部

〒220-0012

神奈川県横浜市西区みなとみらい5丁目1番2

号横浜シンフォステージ ウェストタワー

TEL 050-3148-9877

・名称、住所、電話番号、営業時間、URLなどは変更になる場合があります。

保証と修理について

保証と修理についての詳細は下記のとおりです。

●保証書

梱包箱に保証書が貼付されています。購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)とあわせて、大切に保管してください。

●保証期間と期間中の修理

保証書をご覧ください。保証書記載内容に基づいて修理させていただきます。お客様に製品を持ち込んでいただくか、サービスマンが出張修理にお伺いするのは、製品ごとに定められています。

●保証期間経過後の修理

ご要望により有料にて修理させていただきます。

使用時間や使用環境などで劣化する下記の有寿命部品などは、消耗劣化に応じて交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

有寿命部品

フェーダー、ボリューム、スイッチ、接続端子など

●修理のご依頼

本書をもう一度お読みいただき、接続や設定などをご確認のうえ、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

●損害に対する責任

本製品(搭載プログラムを含む)のご使用により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、そのほかの特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。